VOLUME.
1
【漫画】小宮利公
【原作】笑うヤカン
キャラクター原案●新堂アラタ
ヴァルキリーコミックス
魔王の始め方
THE COMIC

【漫画】
小宮利公

3年ぶりの単行本です、
初めましての方もお久しぶりな方も
お付き合いいただければ幸いです。

【原作】
笑うヤカン

ダンジョン好きが高じて小説を書いていたら、本になったうえに
こんなに素敵な漫画まで描いていただけて感無量です。
ファンの一人として、ダンジョンとオウル達の活躍を
見守っていきたいと思います。

VOLUME.
1

【漫画】小宮利公
【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

ヴァルキリーコミックス

魔王の始め方

THE COMIC

ヴァルキリーコミックス

魔王の始め方

THE COMIC

VOLUME.

1

【漫画】小宮利公
【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

CONTENTS

valkyrie comic series - how to book on the devil the comic
comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan
presented by kill time communication

Step.1 ——— 5
Step.2 ——— 55
Step.3 ——— 81
Step.4 ——— 111
Step.5 ——— 139
Step.6 ——— 165

この日

、自分を

裏切った

ものを

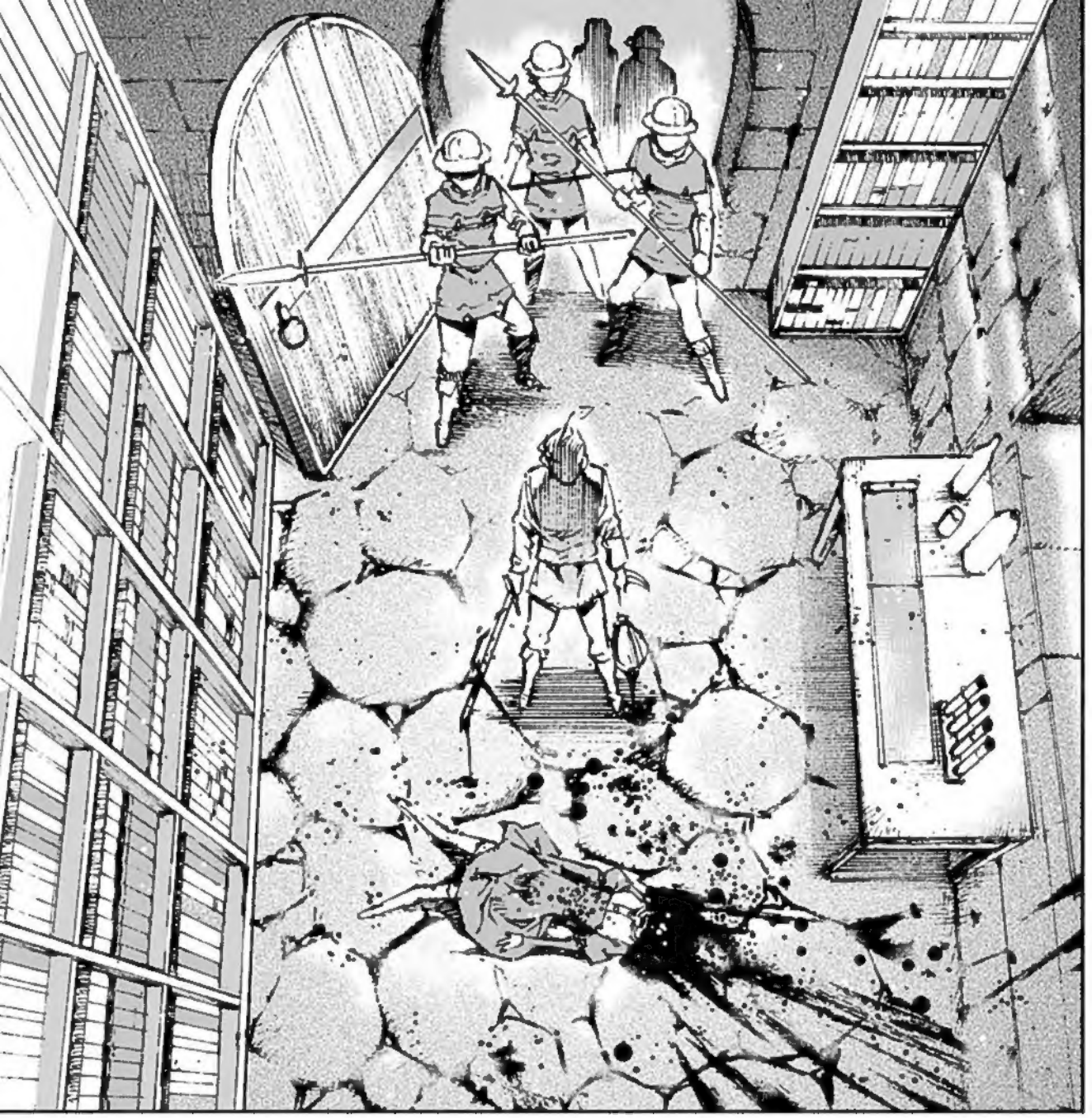
絶対に

許さない

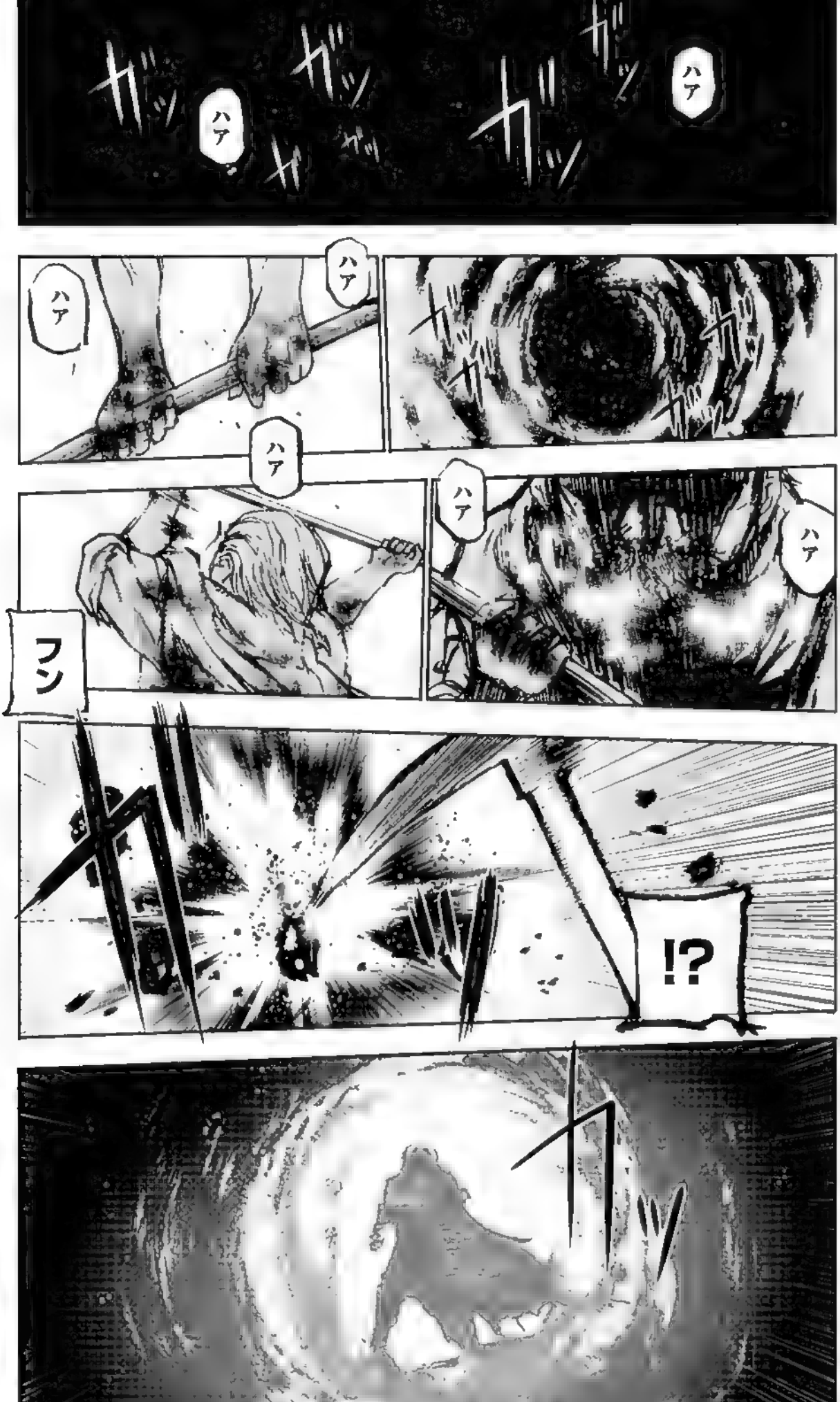
Step.1

Step.1

動くな
手をあ…
!?

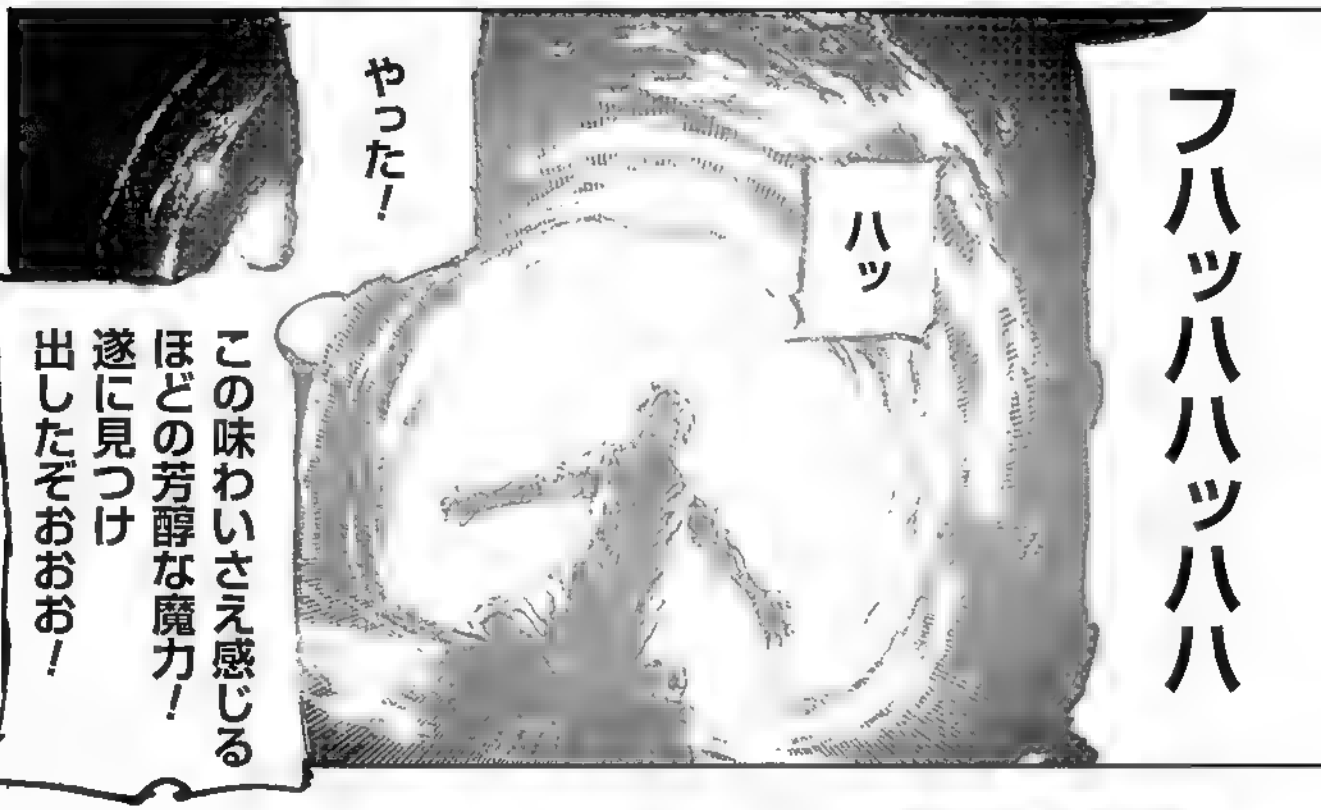


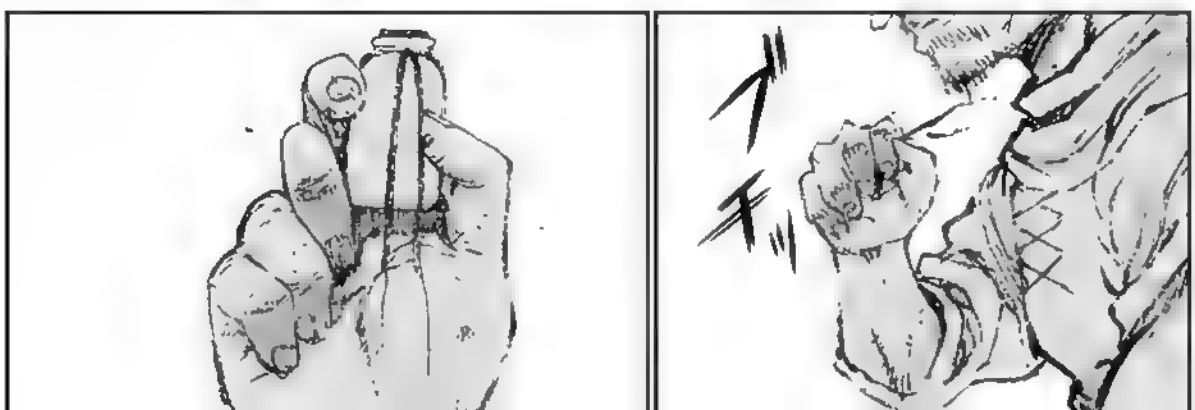
数十年後

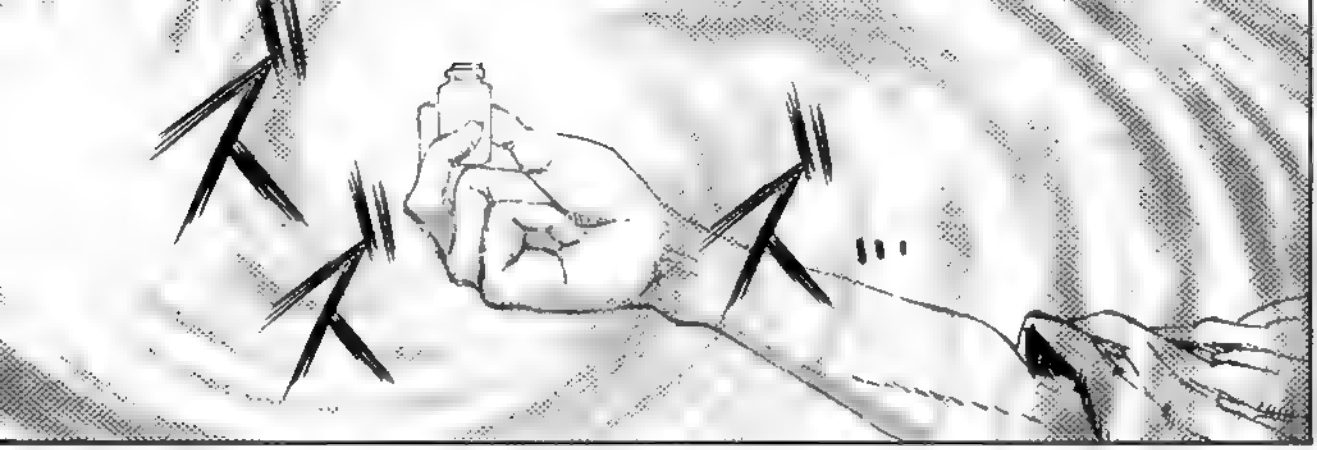

ガッ
ハア
ガッ
ハア
ガッ
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア
フン
!?

ガラ
ガラ

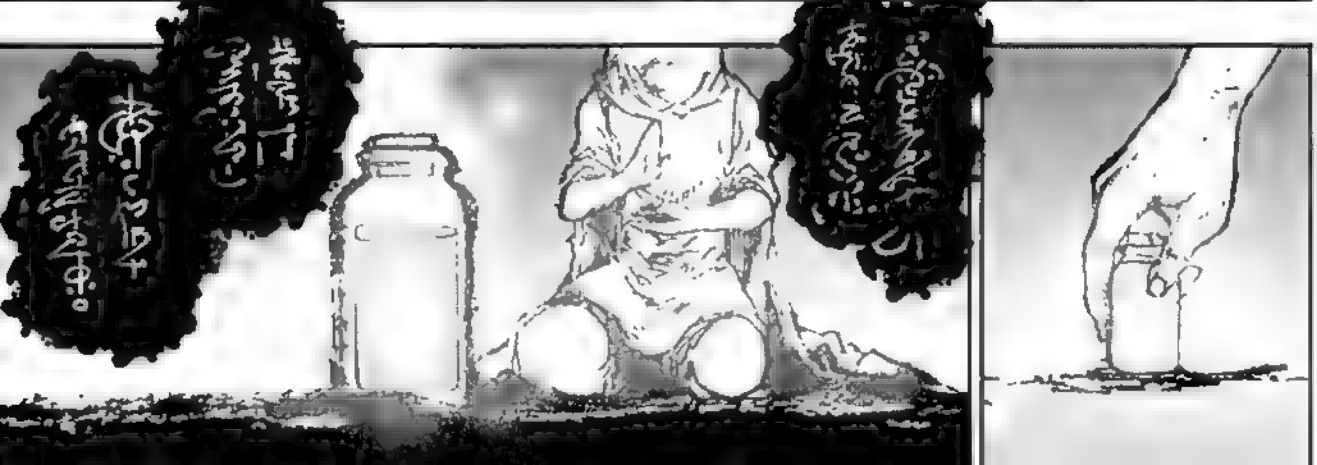
おお…
ふ…
ふふ…


フハッハハッハハ
ハッ
やった！
この味わいさえ感じるほどの芳醇な魔力！
遂に見つけ出したぞおおお！


ガチッ



おお…
視認さえできる
高濃度の
魔力の結晶…
素晴らしい…
これだけあれば…



力が
溢れてくる…
これが
若い肉体
というものか

おっと
もう一杯に
なるか
ぬぉぉ…

ふむ
あとはこの殺風景な空間だ
これで当分は持つだろう
ズア
ズア

っと…
これでよし

ふむ
こんなもんか
ビッ
ビッ

ボン！
ボン！
ボン！

ズル
ズズズ
ズズ

ふ～……

ふ～ん…

ズル

ズズ

…わたしを
呼んだのは
あなた？
…そうだ
そう…
じゃあ呼んでくれた
御礼にとびきりの
夢を見せてあげる
この魔法陣を
消して
もらえる？
このままじゃ
その素敵な唇に
キスする事も
できないわ
それは
できないな
その魔法陣を消せば
お前はすぐさま
俺の魂を奪い
魔界に戻る気だろう
消すのは
契約を
結んでからだ
チッ

あーあ
つまんないの
ちょっとした
冗談じゃない
で？
これだけ魔力を用意
できる魔術師が
そんな手に引っ掛かる
わけないってての
わたしは何を
すればいいわけ？
愚かな男達から
精を吸い上げる？
それとも
あなたの敵に
無限の悪夢を
見せてやる？

あなた自身に
最高の夜を見せて
あげるのもいいけど
うむ
お前には
ダンジョンを
作ってもらいたい

はい？
いまだかつて
誰も見た事の
ないような
深く広く
凶悪な迷宮を
無数の罠と
怪物どもと財宝が
待ち受ける
大迷宮にしたい

はあ？
ぶお
あのね
わたし淫魔
なんですけど
そんな肉体労働
ゴーレムか
ゴブリンにでも
やらせなさいよ！
ふー
慌てるな
無論
穴を掘る作業は
そういった
者どもに任せる
だがそれ以外の
膨大な作業を
手伝う者が要るのだ

ダンジョンの
通路や部屋は
どのように配する？
罠と怪物どもは？
守衛となる魔物も
生き物なら餌がいる
その調達は
如何にする？
我が迷宮が大きくなれば
それを脅かそうとする
不届き者も出るだろう
その様な輩への対処は？
考えるべき事
すべき事は無数にある
それを…
貴様に手伝って
もらいたい
…
それは
分かったけど何で
わたしなわけ？
理由は
三つだ
まず第一に
俺は人間を信じておらん
人は必ず裏切る
妖魔や亜人の類も
それは同じだ
だがお前たち悪魔は
契約を破る事は
絶対にできない
だから人間ではなく
悪魔を選んだ
第二に通常 悪魔は
高位になるほど
高い力と知恵を持つが
その分 契約や存在の
維持に大量の魔力が
必要だ
お前達夢魔は
人間の欲望と精を
吸い取ることを生業とする
さほど強くはない代わりに
必要な魔力に比して賢く
人間の感情の機微にも聡い
だから淫魔を選んだ
…第三に…

ふうん…
どうせ傍に置くなら
見てくれだけでも
美しく若い女が良い
だから
お前を選んだ
なるほどね
いいわ
その仕事
手伝ってあげる

ではこの契約に
名をもって
同意してくれ
ピラ
あら
契約内容まで
準備してあるの
用意がいいわね

…って
細か！
一体何条あるのよコレ！
俺を陥れるのを防ぐための条文だ
極端にお前の不利になる条文はないから安心しろ
そんな事しなくても裏切ったりしないわよ
あー字細かくて読みづらい
じゃ契約するわよ
汝サキュバスよ
この契約に従い名をもって我が力となるか？
我が名リルシャーナにかけて誓う
契約に従いあなたに力を貸しましょう
ならば我が名アイン・ソフ・オウルにおいてこの契約を守る事を誓おう

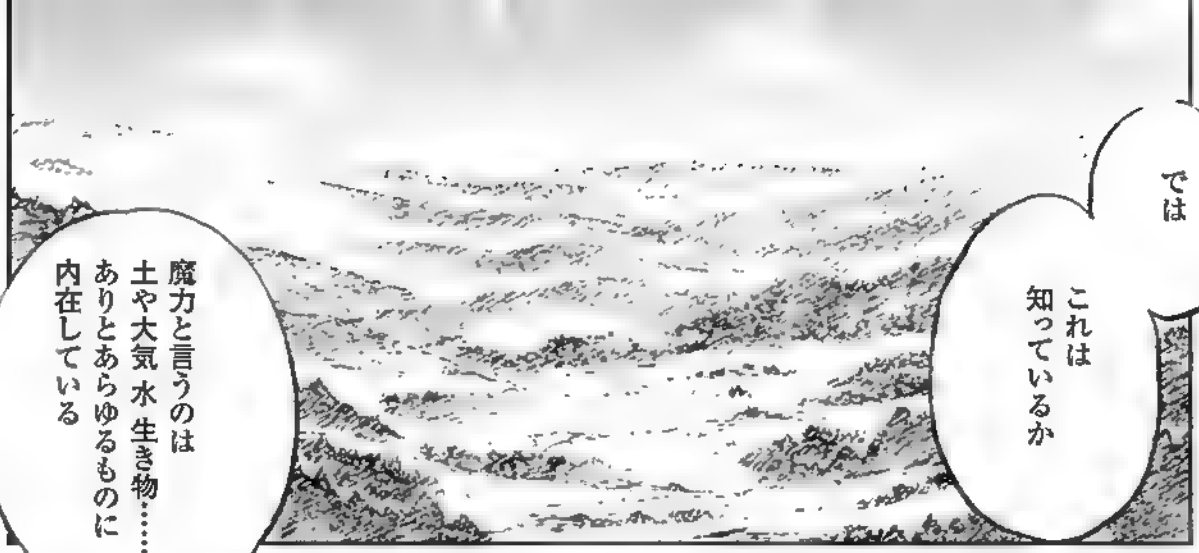
ではこれから
よろしく頼むぞ
俺の事は
オウルと呼べ

はいはい
わたしは
リルでいいわ
よろしくねオウル

…ところで
さっきから
気になって
たんだけど
…これ何

これか
そうだな
「ダンジョンコア」
とでも呼ぼうか
これからの
ダンジョン作りの
核となるものだ

リル
魔力とは何か
わかるか？
馬鹿に
しないでよ
わたし
これでも
悪魔よ？
魔力は全ての
「魔」に関わる
ものの根源
魔法も 魔物も……
そして勿論
わたし達 悪魔も
それを源にしてる
『創造主』が作り上げた
この世界を
僅かでも捻じ曲げ
汚し 作り変えるもの
それが
『魔』であり
魔力であり
悪魔ってわけよ


では
これは
知っているか
魔力と言うのは
土や大気 水 生き物……
ありとあらゆるものに
内在している

しかし

その大部分は
地中に存在する

地中の魔力は
一つのところに
留まっているわけではなく
道や河のように流れている
この魔力の道を
龍脈という

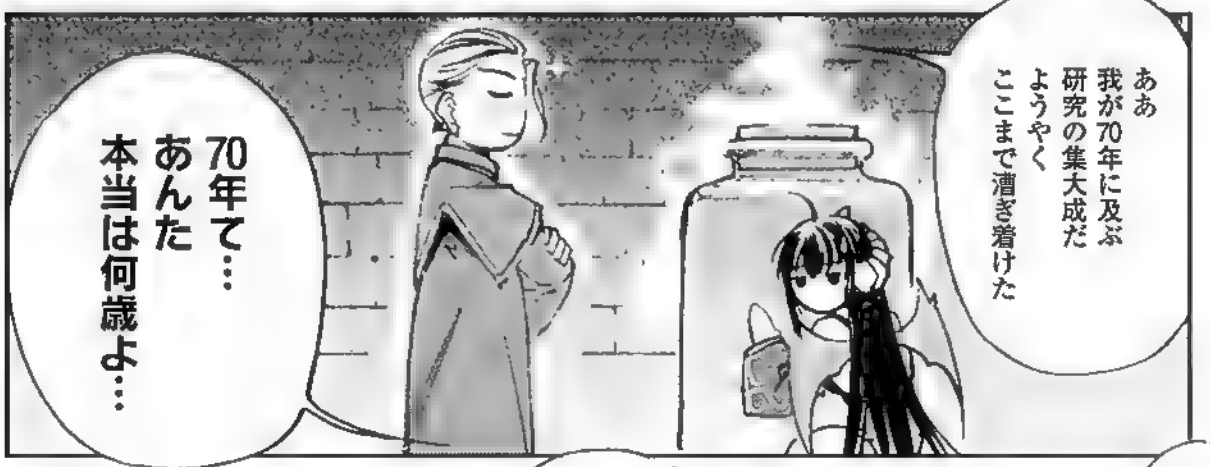
…で それとこれと
何の関係があるわけ
今いる場所は
その龍脈の真っ只中だ
このダンジョンコアは
その龍脈の魔力を
吸い上げることが
できる
えもしかして
この水…
…魔力とか？
そうだ
…
嘘でしょお!?

液体状に
なるくらいの
濃度の魔力なんて
並の魔術師じゃ
振り絞っても
一滴二滴が
いいとこじゃない！
こんな量
人間の魔術師が
扱える量を遥かに
越えてるわよ…

それにこんなに
近くにあるのに
全然魔力の
匂いがしないって
どういう事？
こんな量の
魔力が傍にあって
匂いがしないなんて…

…簡単な話だ
この瓶は完全に内部に
魔力を閉じ込められる
ようになっている
全く外に
魔力が出なければ
匂いもする
わけはない

これだけの魔力
人の身に宿せば瞬時に
正気を失うだろうが
必要な分だけ使うなら
問題ない
完全に魔力を
遮断って
…すごい技術ね
そんな事が
本当に可能なの？


ああ
我が70年に及ぶ
研究の集大成だ
ようやく
ここまで漕ぎ着けた
70年て…
あんた
本当は何歳よ…

まあいいわ
大体納得した
こんな濃度の
魔力を無尽蔵に
得られるなら
それこそ
世界を統べる事も
可能かもしれない
…で
ダンジョン作りって
まず何から始めるの？

そうだな…
まずは後ろを
向いて
手をそこの壁に
ついてくれ
？
…こう？
ん？
ねえ
この体勢って
まるで…
ひあ！

なんだ？
まさか生娘だった
などとは
言わんだろうな
なわけないでしょ！
…もうっ
するんならするって
ちゃんと言ってよね
何もせずに
突っ込んだのに
随分濡れているな
…あ
そこ
いい……っ
そりゃ
……んっ……淫魔
だから……ねっ
でも 意外ね…
…ん……っ
わたしを
呼びつけて…
…はぁ……
いきなり
ダンジョン作れ
なんて言うから…
…こういう事
興味ないのかと
思った……
それは誤解だ
確かに
今交わっているのは
ダンジョン作りの
一環ではあるが
それはそれとして
俺はセックスに
興味が無いわけでない

いや
むしろ大いに
興味があるぞ
折角迷宮を作り
力を手に入れても——
あっ！
富も女も
求めないでは
何の意味も
ないだろう？
なにそれ…
…ふふはぁ…
…エッチしたいから…
…んっ……
ダンジョン
作るって……わけ？
でもいいわ…
…そういう事なら…
…んふ…たっぷりと
サービスしてあげる
ほう…
くぅ……淫魔と
交わるのは
初めてだが…
…流石に凄いな
んふふ
…ありがと
あなたのも
大きくて硬くて
とっても素敵……
んっ 契約さえなければ
このままカラカラに
なるまで搾り取っちゃう
ところなんだけど
……ね

随分と
余裕…だな
そりゃ
サキュバスですから…
…あん……
……もっと泣き叫んで
嫌がる方が
お好みだった？
では
!?
こういうのは
どうだ？
何…？
今の…
悪魔の実体は
常にこちらの
世界とは隔絶された
魔界にあるらしいな
イヤ…
ダメ…！

意識や自我は
こちらの世界に
来てはいるが
身体は魔力で作られた
仮初のもの
だから必要以上の
苦痛を感じないし
破壊されても
元の魔界に戻るだけ…
魔力で作られている
という事は
魔力で干渉し
作り変えることも
できるという事だ…
というわけで
お前も人並みに
快楽を感じ乱れ
気をやれるように
してみた
ああ
害になるような事は
していないから
安心してくれ
ま待ってぇ
ちょっと待っ…
…んうっ！
あああ！

アアアア

ダンジョンコアは龍脈から魔力を汲み取る
溜まっている量も汲み取る速度もまだ大した量ではないが
体力を回復させる程度の魔術であれば無制限で使える程度ではある
魔力で体力を補いながらならば半永久的にお前とまぐわっている事も可能だ
…
ん？
ポウ…
？
がそれもこの迷宮内ダンジョンコアのすぐ傍でだけの事…
そこでだ
オン オン
このようにお前の身体へ俺の魔力を精と共に仕込んだつまり移動型の小型ダンジョンコアだな
プル プル
しかし流石 悪魔だな許容量一杯まで魔力を溜めるのに一晩かかったぞこれで当分大丈夫だろう
ふざけるなあああ
な何故怒る
あ〜〜〜
あーもうこの馬鹿殴りたい！
契約で危害加えられないから殴れないけどすっごい殴りたい！

というわけで
これから
あの村を
襲撃する

…いい加減
機嫌を直さないか？
別に機嫌
悪くなんてない
では改めて
確認をしよう
俺はある程度魔術を
修めてはいるが
その研究の大半は
ダンジョンコアに
費やされたものだ

魔力の取り扱いは
世界でも有数だと
自負しているが
戦闘経験は
ほとんどないし
荒事には向いていない
ただの村人に
負けることはなかろうが
ある程度の腕を持った
剣士でも出てくれれば
少々辛い
つまり
お前だけが
戦力という事だ
頼んだぞ
いいわ
皆殺しに
してやる！
よし
じゃあまず
一人目…
待て
なに
すんのよ！

そこな娘よ
ここに長を連れて来い
邪悪なる魔術師
オウルが貢物を
要求しにきたとな
逆らえば死のみが
待っていると知れ
…はあ？

……
ズズズ
二度は言わぬ
村全てを灰燼に
帰したくなければ
急げ
…
ヒ…
ヒイイ
ダッ
めんどくさいなー
問答無用で皆殺しに
しちゃえば
いいんじゃないの？
殺さない方が
使えるからな
とは言え
逆らうなら
容赦はせん
…そしてこの村は
逆らうだろうな
お待たせしました

オウル様…なんでも貢物をご所望との話ですが…
ああそうだこちらの要求を呑めばよし
呑まぬならばこの村には灰になってもらう事になる
それはそれは恐ろしい…もちろん納めさせていただきます
カキ…

…鉄の剣で良ければなッ！
チッ
かわしたか
リル
俺を守れ
ちょっと！
どういう事よ!?
端からこちらに
従う気などなかった
ということだ
とはいえ
お前のような50にもならん
男が杖をついて歩いては
せっかくの暗器が
バレバレだろう

…アンタを
殺した後でな！
ご忠言痛み入る
次からは気をつけるさ…
く…！
こいつ
強い……！
わたしじゃ
敵わない
逃げよう！
駄目だ
ハハハ！
じゃあな
悪魔の嬢ちゃん
恨むなら馬鹿な
主人を恨みな
今だ
殺せ

な…に…？

村長！
キャアアア
ザワッ
よし
後は戦闘の訓練も積んでない有象無象だ任せたぞリルガーゴイル
はっ
なんでこうなってんのよ…
!!
うわあああああ
きゃあああ
ひいいい！
うわあああああ！

ぎゃあああ！
ズ!!
た 助けてえええ
ズ!
ズ
ズ
ズ

ねえ
いつの間に
ガーゴイル
なんか置いたの？
村の石像を魔力で
操ったのかと
思ったら本物なのね
びっくりしたわ

あれを置いたのは
大体30年前だな
は？

この近辺に龍脈が
あることは50年も前には
気づいていたから
足掛かりにする為
行商に化けて
魔除けの像として
村に売りつけた
「なんと精巧な
ガーゴイル像なんだ！」
と喜んで買っていったよ
当然だ
本物なのだからな
そのガーゴイルを通じ
村長の実力は知っていた
あいつは元冒険者で
昔はそこそこ名の知れた
剣士だったそうだ
素直に従うはずも
ないから
殲滅しやすいように
集まってもらったわけだ

なるほどね…
…本当
あんた嫌になるくらい
周到で狡猾ね

褒め言葉と
受け取っておこう
さて
始めるか
この数は少々億劫(おっくう)だ
魔力をもらうぞ
！

…一応言っておくが
魔力を取り返すなら
手を握るだけでも
いいからな

あーそーですかー
ん…

Step.1 End

魔王の始め方

【職業◎魔王】
【戦力◎3】

「お前にはダンジョンを作ってもらいたい」

オウル

owl - Probation of the devil

一見若き青年の姿だが、
実際は老齢の魔術師が魔力を得て若返った姿。
かなり高度な魔術知識と技術を持ち、
それを活かして世界征服に
乗り出した新人魔王。
しかし肉体的な戦闘力は常人並。

Step 2

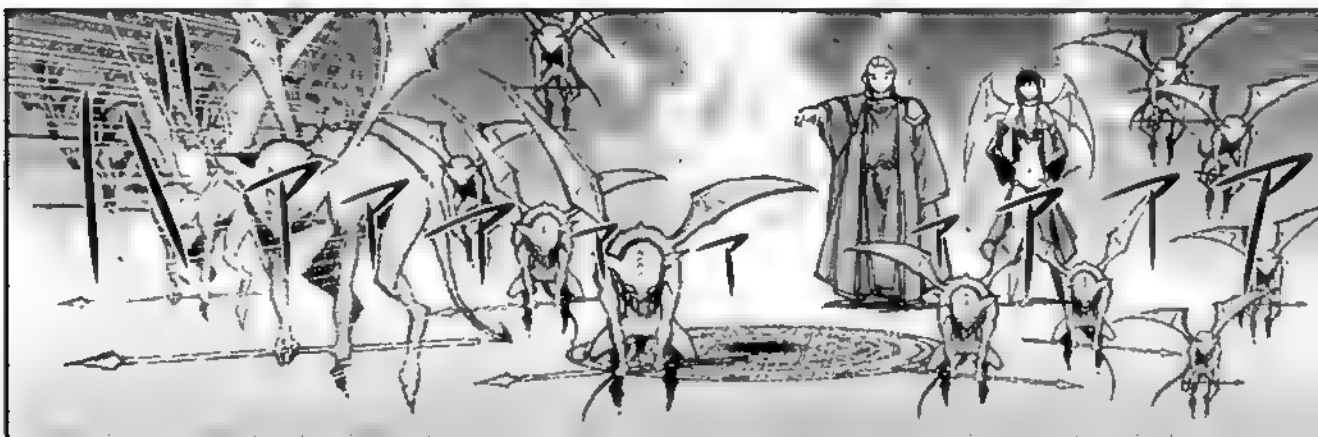
なんか
急に雲行きが…
そういえば
雷が
鳴り始めたな
ゴロゴロ
うわあああ！
落ちたあ！
…!?
!?

ひ…人？
し…屍人？
一体どこから…
うわああ！
よく聞け
我が名は
邪悪なる魔術師
オウル
と…
取引ですか？
今日は
貴様らに
「取引」を
持ちかけに来た
さっきも
思ったけど
自称するの
どうなの？
うるさい
こういうのは
わかりやすい方が
いいんだ

ザワ…
ザワ…
そうだ
我に月に一度食料を
そして年に一度
美しく清らかな
乙女を捧げよ
さすれば
我が祝福を
汝らに与えよう
その…
もし…
応じなかったら?
この者たちは
取引に
応じなかった
愚か者たちだ
!?
ゲオルグさん…!
コオオオ…

我に敵対するなら
待つのは
死などという
生ぬるい
ものではない
…
果て無き
永遠の
苦役だ

まずこの
ダンジョンを
大きく拡張
せねばならん
インプどもよ
この地図通りに
ダンジョンを
掘るのだ
いでよインプ



ここ数日で
六つの村と
契約したわけだが
ここからは
ダンジョンの拡張だ
拡張には二つの
意味がある
侵入者対策と
収集する
魔力量の増大だ
今このダンジョンは
地上への穴から
コアのある部屋まで
ほぼ直通の道が
通じている
これは非常にまずい
侵入者に
ダンジョンコアを
壊されれば
すべては終わりだ
この部屋に
入れないように
壁で囲っちゃえば
いいんじゃ
ない？
それができんのが
二つ目の理由だ
このダンジョンは
龍脈の真っ只中に
存在しているが
コアへ勝手に魔力が
溜まるわけではない
ダンジョンの通路に
魔術式の彫刻を施し
それを通して
龍脈の魔力をコアへ
流しこむ必要がある
つまり
侵入者を防ぐ
複雑な迷宮と
魔力を効率的に
集める魔術式…
それを一挙に
解決するには？
…答えはこの
ダンジョン自体を
巨大な魔法陣に
することなのだ
そして
お前にも手始めに
簡単な仕事から
してもらおう
……
ヤな予感…

三日後
ダダダダ
バーン！
？
オ～
ウ～
ル～
なんだ
もう終わったのか
早かったな
まさか屍体の肉を
削ぎ落とす作業なんて
させられるとは
思わなかったわよ
おかげで
全身臭いわ
血で汚れるわ
どこが簡単な
仕事よ！

仕方あるまい
良質なスケルトンを
作りたければ手で肉を
取り除くしかない
燃やせば骨が脆く
なってしまうからな
しかし村人の
屍体の数からしたら
一週間はかかると
踏んでいたが
ゾロゾロ
ん？
あーなんか
ゴブリンがたくさん
迷いこんできたから
魅了して手伝わせたの
ほう

屍体を大量に
切り刻んだからな
おそらく瘴気に
誘われて
来たのだろう
血が流れれば
瘴気も溜まる
瘴気が溜まれば
魔に属する者に
とっては居心地の
いい場所になる

あー……
言われてみれば
ちょっと身体が
軽くなってるかも
さて 次の仕事の前に
その身体を
洗い流さなくてはな
ついてこい
いいモノを
見せてやろう
？
もっと濃くなれば
怨霊の類や死体が
勝手に動き出したり
することもあるからな

わー！凄い！

お風呂作ってくれたんだ

地下水脈を見つけてなここに引いてみた熱した岩で温めてある

はー…気持ちいい～

ついでにお食事いただきマース

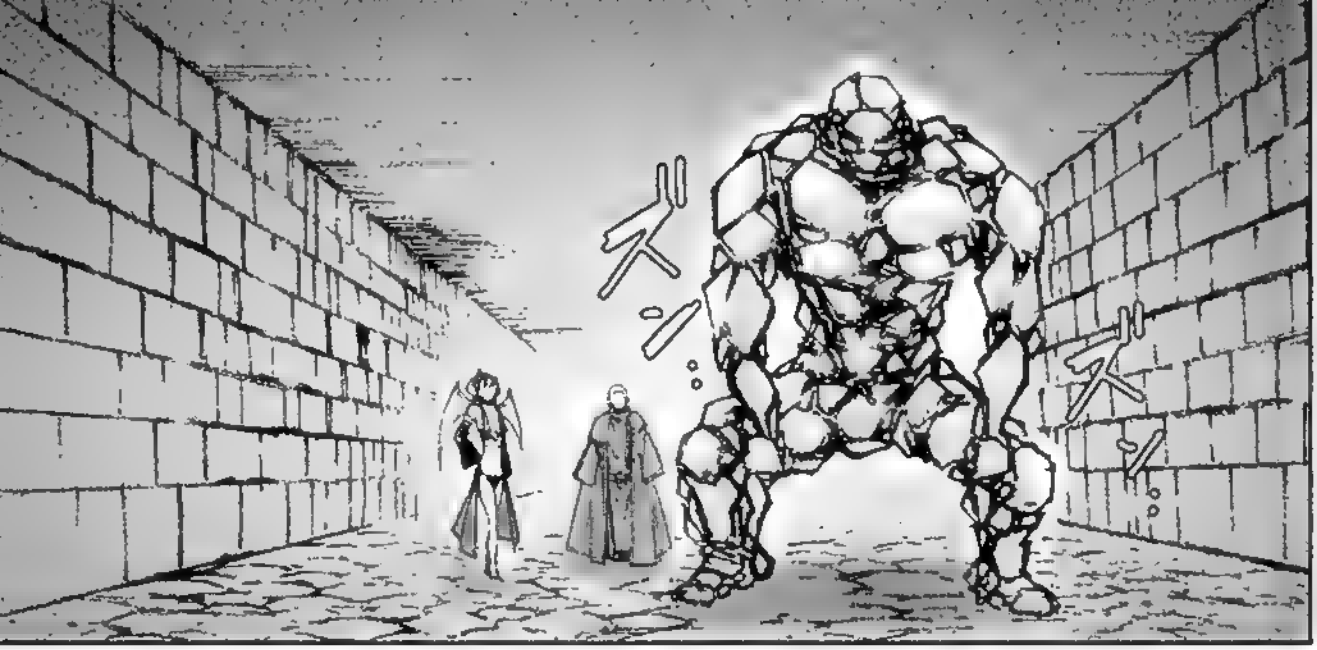
そういえば
ゴブリンに
仕事を手伝わせた
後はどうした？
あうん
えっと魅了が解けたら
なんか入り口の方に
巣みたいなの作ってたから
そのままにしといたよ
ん？
そうかならば
それでいい
あっ
今後も
このダンジョンが
持つ瘴気や
魔力に誘われて
ジュープ
ジュープ
ポタン
ポタン
妖魔や魔獣の類が
迷いこんでくることは
あるだろうが
基本的に放置して構わん
コストのかからぬ
外敵への備えになる
な…
何これ？
!?
…思ったより
早く来たな
おそらく冒険者だろう
「契約」した村の
どれかから依頼され
俺を殺しに
来たのだろうな

リル
スケルトンの
配置は？
ガチャ..
ガチャ

えーと
この前渡された
地図通り
割り振って
おいたけど

一体
討ち漏らしかー
魔力
無駄遣い
しちゃった

なんだと…！
スケルトン十体が
一撃だと…？
どうしたの？
しかも相手は
たった一人…
コイツは上級だな
上級？
この前の村長は
中級の上位くらいだ
このダンジョンに
今いる妖魔どもでは
相手にならんだろう
コッ
コッ
相手は魔法剣士だ
ゴーレムとお前で
抑えてる間に
俺が魔術を叩きこむ
いいな
わ…わかった
ズン。
ズン。


ズーン

……
君が
『邪悪なる
魔術師オウル』？

……

ふーん
沈黙は肯定って
ことでいいよね？

!?
しま…っ!

……！
……
さてと
君は
人間…
じゃないよね？
ご主人サマの
敵討ちとか
考えるタイプ？

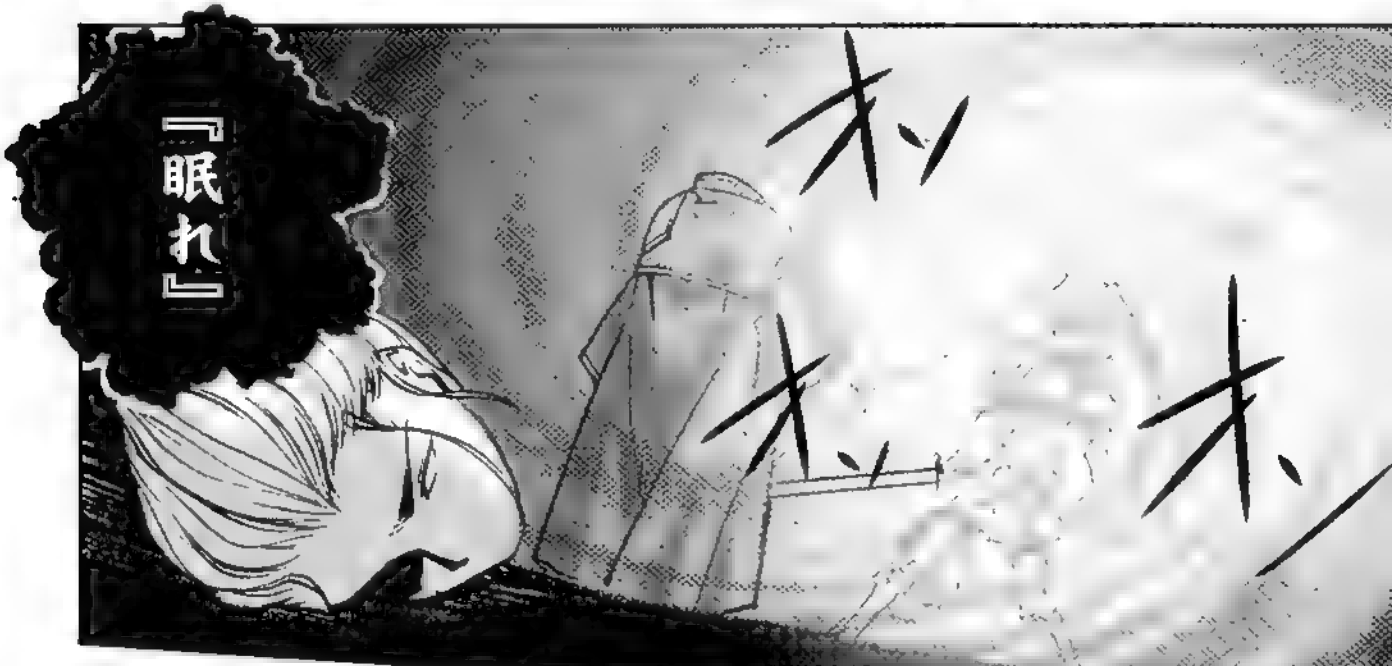
…まさか
私は契約で縛られてるだけだからね
主人が死ねば契約も無効
とっとと魔界に戻るわよ

そうなんだ
じゃあ聞くけど
今あたしが殺した人が「オウル」で合ってるんだよね？

うん
あってるあってる
すんごい性格悪くて人使いっていうか悪魔使いも荒いし
実年齢70以上のくせに滅茶苦茶エロいしダンジョンのことばっか考えてるダンジョン馬鹿
あはは悪魔さんも結構苦労してたんだ

でもね
そんなに嫌な奴でもないんだよ
うちのご主人様は！
わっと！
ユキ！

敵討ちなんて
しないって
言ったのに
嘘つき！
嘘なんて
ついてないよ
『敵討ち』
なんて
しないって
!!
く！


『眠れ』

よく
気付いたな
言ったでしょ
主人が死んだら
とっとと
血界に帰るって
ところで
どうなってんの
それ？

大して珍しい
術でもないんだがな
命を別の場所に
おいているから
この身体はどれだけ
壊されても死なん
かわりに身体には
傷一つなくても
命の方が壊されたら
死ぬが
ああ……
なるほどね

……それで
その子は
どうするの？
……
そうだな

どうやら
コイツは
『英雄の星』の
下に生まれて
いるようだ
英雄の星？

ごく稀に
いるんだ
何らかの宿命の
下に生まれる人間が

そういった人間は
大抵幼い頃から
他の人間とは
段違いの能力を持ち
成人すれば
その道で一流以上の
達人となる…が
その人生そのものも
平坦なものではなく
必ず大きな不運や幸運を
呼び寄せることとなる

へー……
もしかして
オウルも
『魔王の星』の下に
生まれてたり？
そんなわけないだろう
そうであれば
この齢になる前に
ダンジョンを完成させるか
野垂れ死んでる

で
結局
その子は？
英雄の星に
生まれた者だ
殺そうとしても
そう簡単には死なん

調教するか

Step.2 End

魔王の始め方

リル

...ir - succubus

【職業◎サキュバス】
【戦力◎2】
【消費魔力◎0.1】
【最大貯蓄魔力◎10】

オウルが召喚、契約したサキュバス。力は強くないが幻惑、変身、魅了、精気吸収などの特殊能力を持ち、簡単な魔術も使用可能と知能は高い。オウルに不満は多いが従順に振る舞う。

Step 3

ペチャ
ハッ
ななな
何して…！
あら
お目覚め？
もっと
寝てていいのに
目を
覚ましたか
!?

一応名乗っておこう
我が名はオウル
『邪悪なる魔術師』だ
こちらは
我が助手にして
女悪魔のリル
…お前の名は？
…
…ユニス
冒険者だよ
ではユニス
お前にここへ
来るよう
頼んだのは
どの村の誰だ？
…別に…
邪悪な魔術師の
噂を聞いて
成敗しようと
やってきた
だけだから
ほう…では
その噂をお前に
教えてくれたのは？
か…
風の噂で…
風の噂か…
それならば
仕方ないな
そ そうそう！
あたし頭悪いから
どこで聞いたかなんて
すっかり
忘れちゃってさ！

ボウ…
なら仕方ない…全ての村を焼き払うしかないな

害意もない村も焼き払う事は残念だが
他に替えがないでもなし——
やめて！

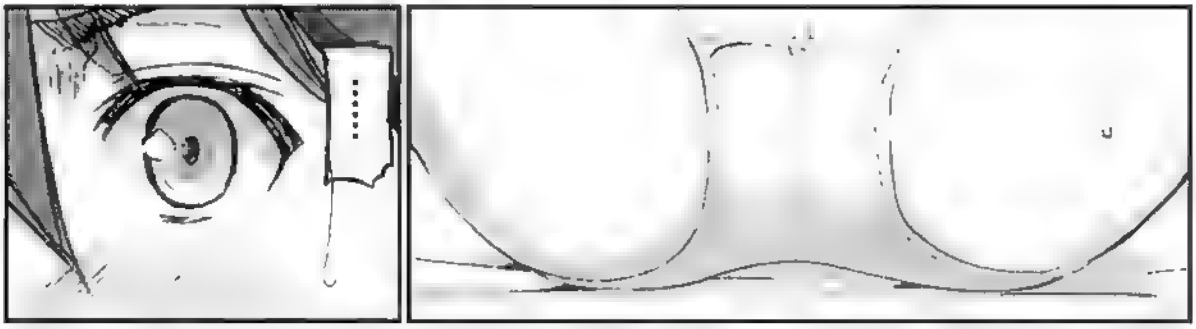
村の人は何も悪くない！
あたしがあたしが勝手にやった事なの！

だからお願い村の人達だけは…
では
悪いのは全てお前であると言うのか？

そうだよ！
村の人は
何も悪くない
あ！
止めるのを
振り切って
あたしが勝手に！
では咎を受け入れ
全ての『罰』を
その身に受ける
事を誓うか？
…誓う
誓うから
村の人達には
手を出さないで
人聞きの
悪い事を言うな
「村人を
殺されたくなければ
言う事を聞け」
…等とお前を脅して
いるのではない
『罪』の在り処を
問うているのだ

邪悪と自称する
この身なれど
『罪』なき者を無為に
殺すような真似はせん
以前滅ぼした村とて
我に楯突き
刃を抜いた故の事
『罪』が
お前にのみあると
言うのなら
他の者を『罰』する
道理などない
……
わかった『罪』は
あたしにだけある
だから『罰』も
あたしにだけ…
ならば
お前の『罪』に
『罰』を与えよう
…！

!?


……

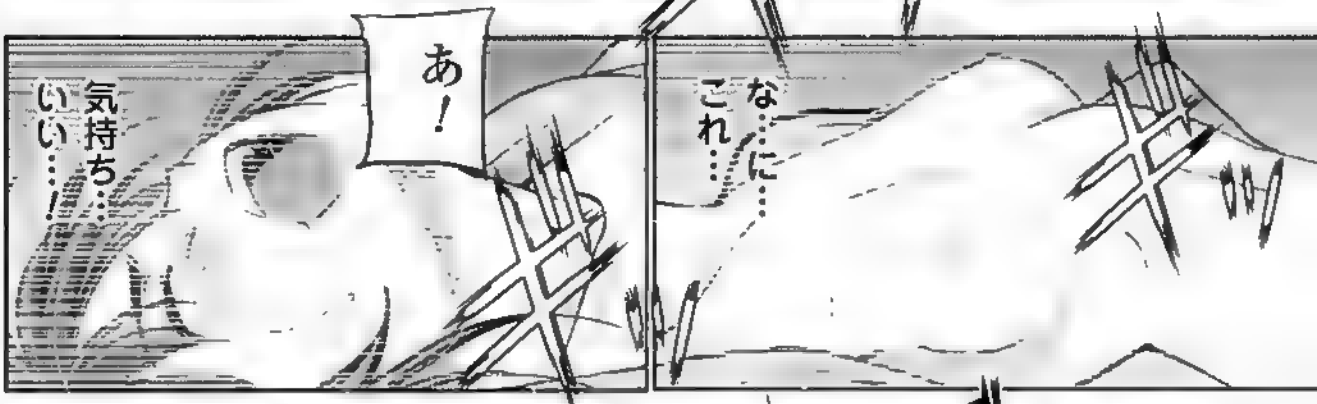
ふふ 可愛い
敏感なのね…
んう…

そろそろここも
弄ってあげましょうか
ふふ もう
ぐしょぐしょね
いい反応ね
処女だけど
オナニーは
ちゃんと
してたんだ？
ふぁあっ！
そんにゃぁあっ！
いやめっ 駄目えっ！
ペロ
チュ

ああ
ペロ
チュ
ペロ
ん
ああ
じ…自分でやるのと
全然…ちが…
ハア
ハア
さて
そろそろ
いいわよ
…い…
いや
さあユニス
お仕置きの
時間だ

んぎ！
ハッ
い…いた…い…！
いた…い！
痛い…！
ハア
う…
内臓…！
挟られる…！
うう…
動くぞ
どうだ？
痛みは
消えただろう？
ハア
ハア
あ…

んああ！
チュ！
ズチュ！


あ！
気持ち…いい…！
な…に…これ…

ハァ
ハァ
す…すごい

ハァ
ハァ
あ…れ…？

…
どうした？
……？
も…もう
おじま…い？
思う事があるならば
素直に述べてみろ
それは『罪』ではない
何も耐える
必要などない
そのまま
受け入れればいい…

…
…として……
どうした？

もっと…
もっと…
して…♡

こうか？
ふにゃあああああ！
うんっ！
それえっ！
それが
気持ちいいのぉっ！
いいぞ…！
ユニス
最高だ…
ああっ
すごい
すごいよぉ！
それ
それいいっ
いいのぉっ！
そうだ
イけっ！
いっ……
ちゃっ…
…ううっ！
思いっきり…っ！

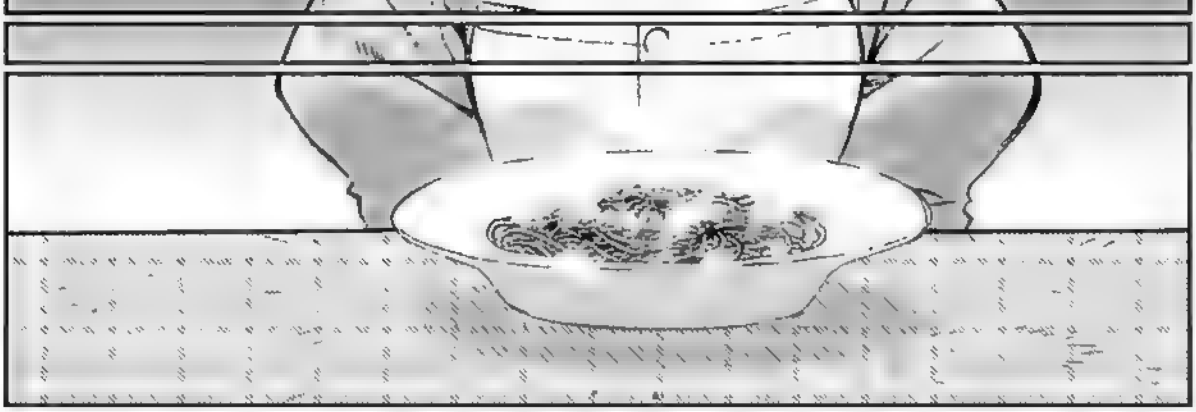
ああああああ

ハア

ハア

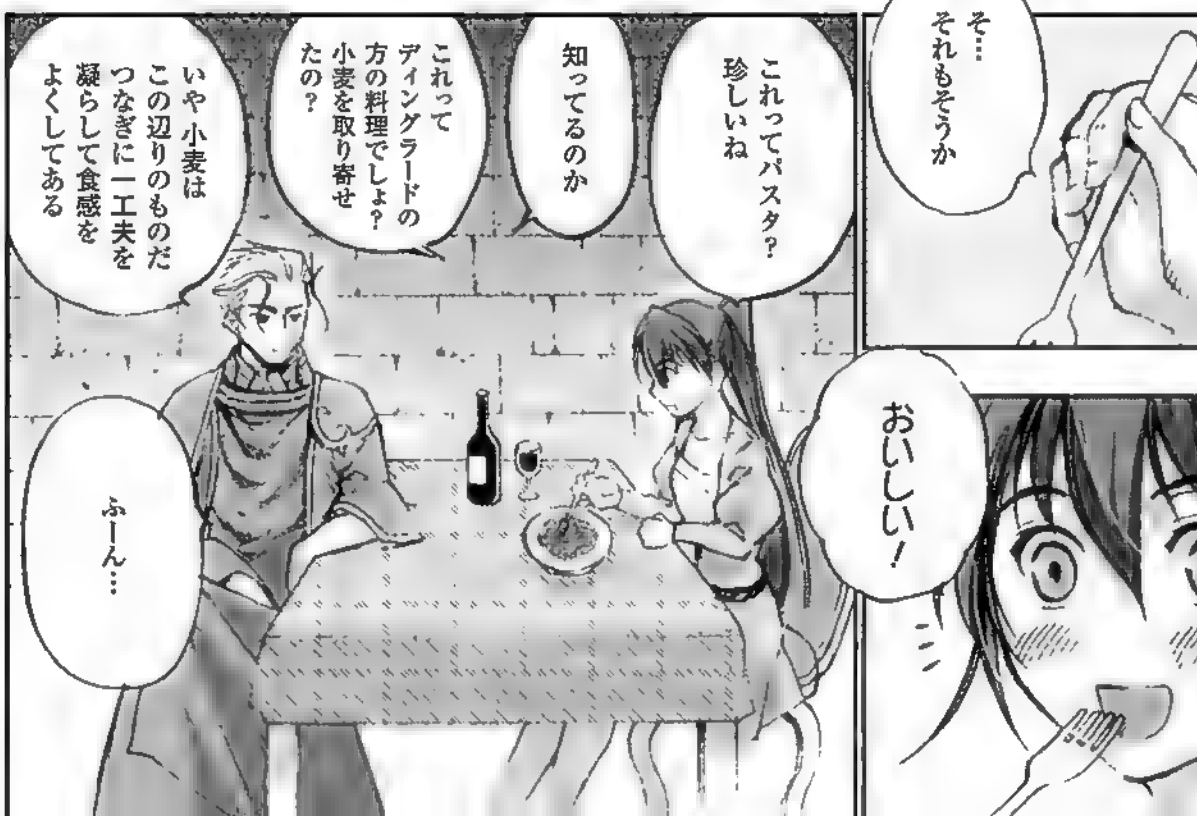
ハア

ああああああああっ!!



……
丸一日寝ていたんだ
腹も減っただろう？

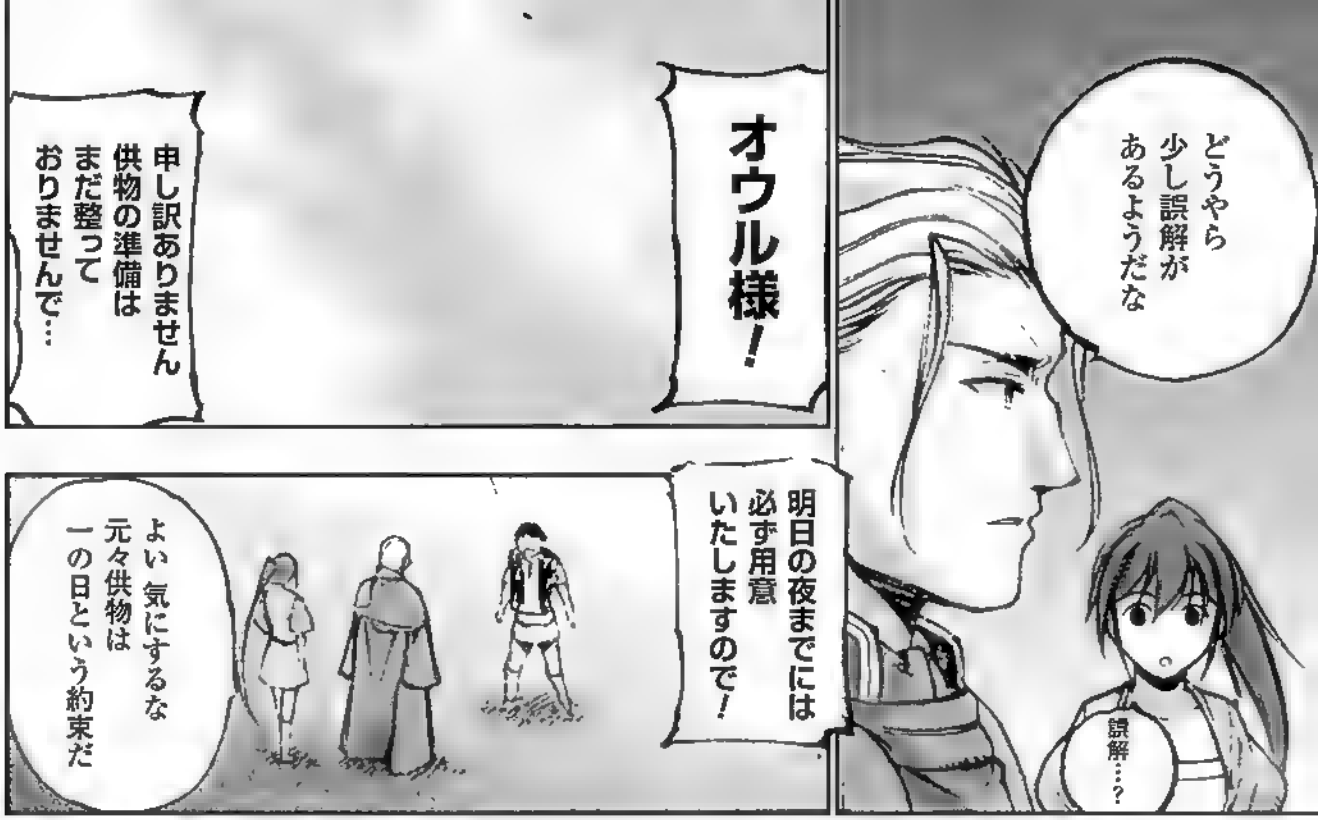
…毒でも
入ってるの？
起きている時に
そんな事をするなら
寝てる間に
殺している


そ…
それもそうか
これってパスタ？
珍しいね
知ってるのか
これって
ディングラードの
方の料理でしょ？
小麦を取り寄せ
たの？
いや小麦は
この辺りのものだ
つなぎに一工夫を
凝らして食感を
よくしてある
ふーん…
おいしい！

えこれ
君が作ったの!?
そうだが
悪いか
だって
邪悪な魔術師が
料理とか…
邪悪だろうが
魔術師だろうが
腹は空く
さて
ピク

そう身構えるな
昨日のアレは
俺の命を狙った『罰』だ
もうこれ以上
『罰』を与える気はない
あ……そ
そうなんだ
ただし俺に
なお刃向おうと
いうなら話は別だが
俺の邪魔をしないと
言うならこの迷宮を
出て行っていい

…邪悪なる魔術師とか
言ってるけど
そんなに悪い人じゃ
ない気がする……
そりゃあたしも
酷い事されたけど
先に首刎ねちゃった
のはこっちだし
『罰』を受けるのは
仕方ない…
…どうして
何の『罪』もない
村の人たちを
一方的に脅して
搾取したりするの?


どうやら
少し誤解が
あるようだな
誤解…？
明日の夜までには
必ず用意
いたしますので！
オウル様！
申し訳ありません
供物の準備は
まだ整って
おりませんで…
よい 気にするな
元々供物は
一の日という約束だ

では 本日は
どのような…
うむ 田畑の
様子を見に来た
それと少し
気になる事が
あってな
田畑？
そうですか！
ではどうぞこちらへ
粗末な村の畑では
ございますが
オウル様のお力で
みるみる育ち
もう冬も近いってのに
今年一番の豊作でさぁ！

一週間でここまでに
なるとは驚きでさぁ
これで余裕を持って
冬を越せます
ガーゴイルの
見張りのおかげで
ゴブリンどもや野犬も
全然手を出してこねぇし
ほんに感謝しとります

冬場も餌があれば家畜を無理に絞めてハムや腸詰めにする必要もない
ところで最近体調を崩してる者が多いのではないか？
は…はいよくご存知で
それは何よりだ今度はカブを植えよカブは冬でもよく育つ滋養もあり家畜の餌になる
わかりました！早速村の者達にも広めます
それは性質の悪い流行り病だとりあえずこれを渡しておこう
これは…！

体力を底上げする薬だ一匙水に混ぜて飲め全快とはいかんが命を落とすのは免れるだろう
近いうちに病気の治療薬を調合して持ってきてやる
……
あ……ありがとうございます！オウル様はこの村の恩人です！
そう畏まらんでよいお前達が俺に報いる限り俺もお前達を守ってやる

ごめん
あたしオウルの事誤解してた！

力で無理やり
村人達を脅して
不正に搾取してる
と思ってた…

ううん どんな領主も
税をとるけど
あんな小さな村を
魔物から守ったり

…でも村人のオウルを
見る目はまるで
善政を敷く領主でも
見てるみたいだった

作物を増やす
助けなんてしない
やっぱりオウルは
邪悪なんかじゃなかった

…そこまで
買いかぶられると
こちらも少々
辛いのだがな

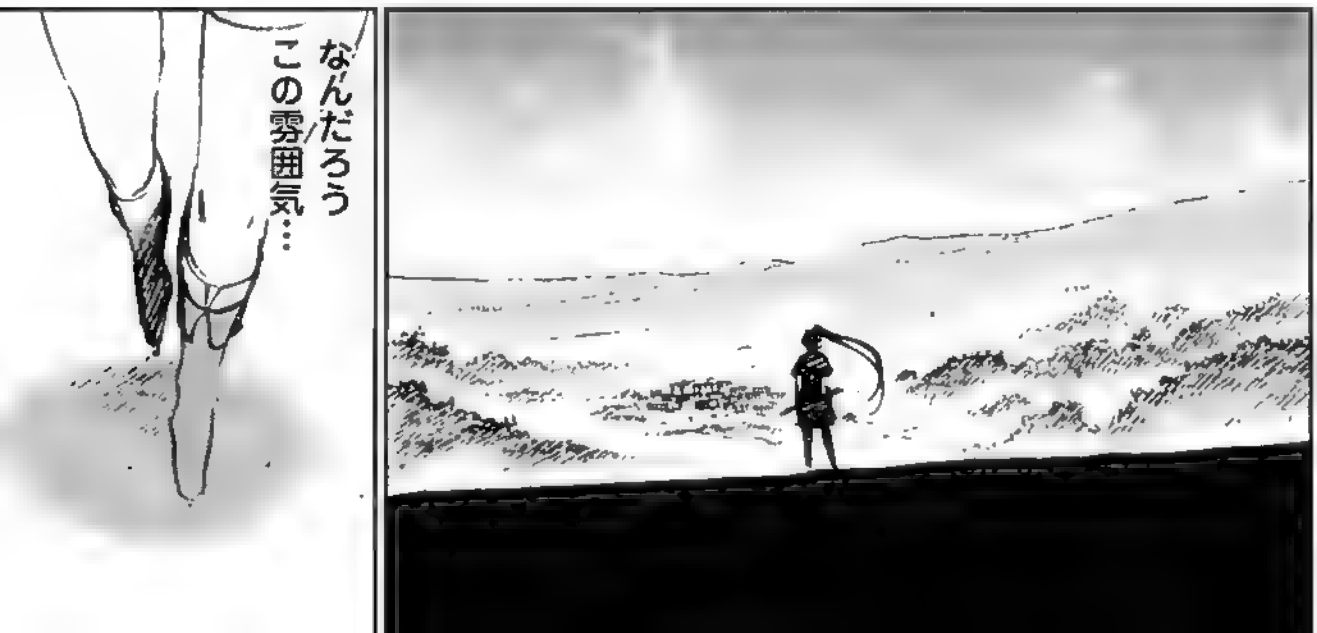
無意味に殺したりは
しないが楯突く者は
容赦なく殺すのだから
邪悪である事には
かわりない

それは…
『罪』を犯したら『罰』を
与えるのが当たり前だし
それにオウルはあたしを
殺さなかったでしょう?

それなんだがな…
本当に『罪』があったのは
お前なのか?

それは…そうだよ
昨日そう言った
でしょう?

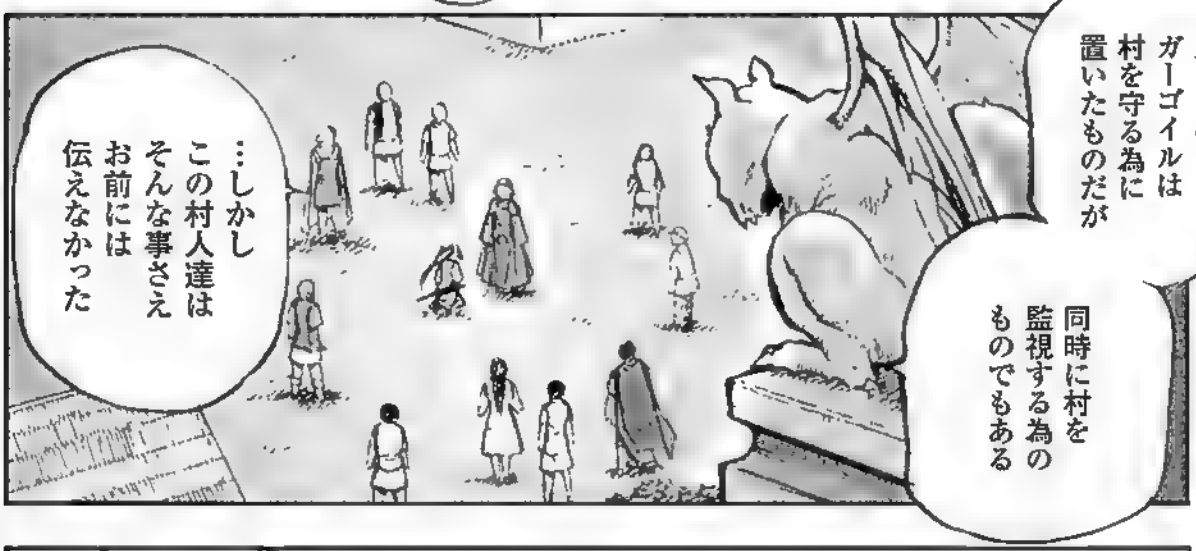
だがお前は俺が村と
取引している事さえ
知らなかった
真の『罪人』とは
お前に俺を殺させて
供物を渡すことなく
田畑への祝福や
魔物からの守護だけを
受け取ろうとした者
ではないのか？
そ…それは
多分あたしが慌てて
飛び出したから
説明する暇が
なかったんじゃ…
…では
確かめにいくか
？


なんだろう
この雰囲気…

こいつ…
どの面下げて
戻ってきやがったんだ！
ザ
!?
自分が
何をしたのか
わかってるのか!?
お前がオウル様を
殺したせいで
田畑は枯れ 魔物どもが
家畜を殺していった！
流行り病で
子供たちも
死んじまった！
お前のせいだ！
お前が正義の味方
気取りで余計な事を
したせいで！
どういう事……？
この！
!?
…うっ！

畑を返せ！
俺の牛を返せ！
あたしの
子供を
返して！
オウル様を
返せ！
この
殺戮者め！
待って！
オウルは
死んでない
さっきまで
一緒に…！
オウル様
生きてらしたの
ですか!?

ザワ..
ザワ..
オ…オウル
どうして…？
…お前に聞くまでもなくこの村がお前をけしかけた事はわかっていた


入り口のガーゴイルは村を守る為に置いたものだが
同時に村を監視する為のものでもある
…しかしこの村人達はそんな事さえお前には伝えなかった

『罪』は全てお前が被った故こやつらに危害は一切加えていない
だが供物を拒んだ代償として田畑への魔力は止めガーゴイルの守護もなくし流行病の薬もこの村には与えなかった
…それを村人達はお前が俺を殺した故の事だと思ったらしいがな

オ……オウル様！
我々にはあなた様に
歯向かう気は
一切ございません！
全ては
そこの女の
独断です！
どうかお慈悲を！
我々は止めたにも
かかわらず
その女が勝手に！
ユニス
これが
お前が必死に
純潔を賭してまで
庇った者達の正体だ
……

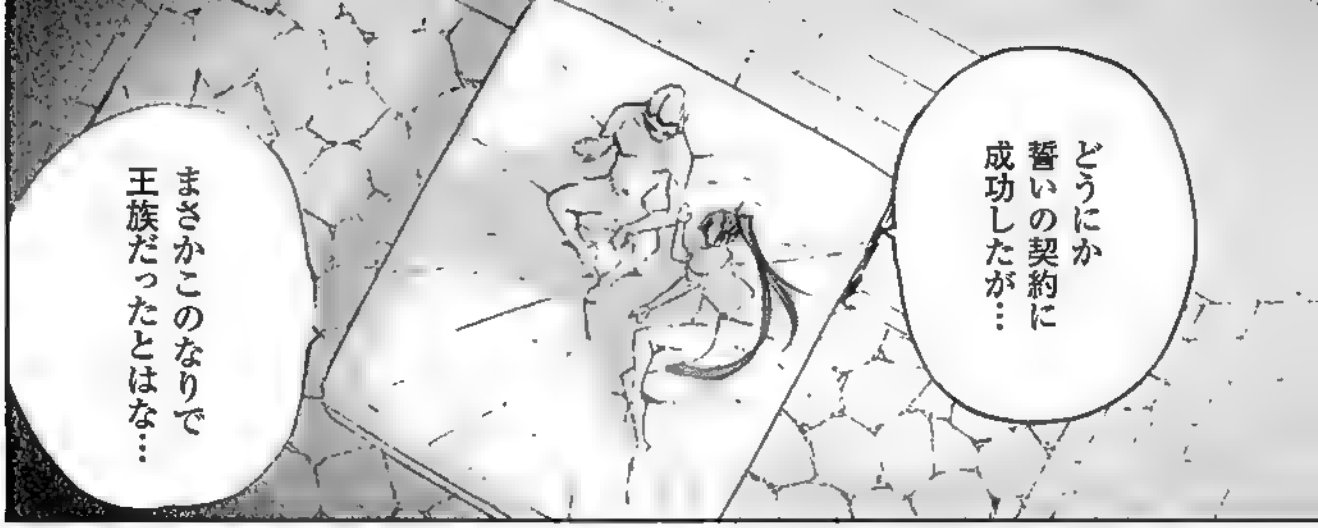
…あはは
あはははは…！
あはははは
ははははは！

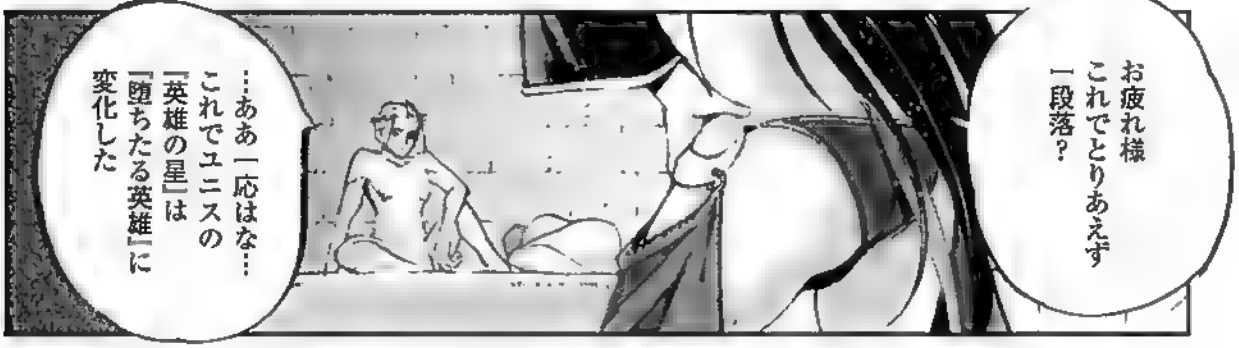
ごめんね
ありがとう
オウル…
…あたし
間違ってた
『罪』ある者には
『罰』を与えなきゃ
いけない！
ヒ…
ヒイイイ！
!?

ぎゃあああ！
…
これは…魔法？
ああああああ
ぎゃあああああああ！
相手に『罪』があるからといって殺してしまうのは邪悪な者のすることだ
ユニスお前はそのまま真っ直ぐでいろ…お前を害する者は俺が全て排除してやる
だからお前は正義のままでいろ
オ…
オウルぅ…

俺は…俺だけは
けしてお前を
傷つけない
だからお前も
俺を傷つけないと
誓えるか？
うん…
…では我が名
アイン・ソフ・オウルにおいて
けしてお前を害さぬと
誓おう…
あたしも…
ユニスフィニア・メレディス・
ルエラ・グランディエアラ
…王家の名において
けしてオウルを害さず
愛し続けることを誓うよ！
なん…だと…？

よし…
後催眠も
上手く
効いてるな
さっきもそれ
やってたけど何なの？
洗脳系の魔術？
いや
これはただの
催眠術だ
後催眠を
刷り込んだ今なら
キーワード一つで
この状態にできる
じゃあこれでずっと
オウルに仕えろーって
言えば 奴隷になるの？
いや 催眠術は
そんなに
万能じゃない
本人が嫌がる事は
させられないし
無理にそんな暗示を
かければすぐに
解けてしまう
『強制』の呪いなんて
かけようとすれば
一発で弾き返される
英雄の道を阻む者は
必ず英雄に排除される
運命だからな
…これは道を
阻んでる事には
ならないの？
もちろん なる
だからこの術で
拘束すればそのうち
何らかの方法で
抜け出すだろうな
そうなる前に
何らかの手を
打たねばなるまい
英雄を確実に堕とす
一手をな


どうにか
誓いの契約に
成功したが…
まさかこのなりで
王族だったとはな…


お疲れ様
これでとりあえず
一段落？
…ああ一応はな…
これでユニスの
「英雄の星」は
「堕ちたる英雄」に
変化した

悪徳をなし
魔を好む闇の英雄だ
そうそう俺に
刃向かう事はないだろう
厄介ごとは
一気に増えたがな…

まあそれは後で
考えるとして…
…今回私 結構
頑張ったと
思うんですけど？
あーそうだな
お前が俺に変身して
村人と友好関係を築いたり
反抗的な村人を操って石を
投げるようけしかけたり
…おかげで
ユニスの誓いを
得て「強制」の呪いを
かけることができた
だから
ご褒美欲しいなー
ご主人様
わかった
わかった
……こい
ユニスよりも
してくれないと
駄目だからね
何を
張り合ってる
んだ…
Step.3 End

魔王の始め方

【職業◎堕ちたる英雄】
【戦力◎10】
【最大貯蓄魔力◎50】

『オウルを愛し続けることを誓うよ！』

ユニス

younis - falling heroine

『英雄の星』のもとに生まれた娘。オウルの策略で『堕ちたる英雄』となるも、その戦闘力は健在。剣の腕は一流以上で、魔術も回復、攻撃、防御と、バランスよく使いこなす。

Step.4
私はリル
迷宮内の
諸々の管理を
任されてる
淫魔よ
今日も人間不信の
ご主人様に
起床の時間を
知らせるのが
日課なの
ごっしゅじん
っさまー！
朝ですよー！
ゆさゆさ

あ！
あ！
あ！
くっ！
ユニス…
ひゅっ
イクぞ…！
ひゅるるる
どくどくどくどくどくどく
あ…あたしも…
イ…ク…！

おう
リル
リル
おはよー
あんた 何抜け駆けして
オウルとセックス
してんのよ！
これ何回目？
アンタの部屋は
ちゃんと用意
したでしょ！
あー ダンジョンって
底冷えするから…
…ついフラフラと
暖かそうなベッドに
!!やはは
私は迷宮の管理で
忙しいってのに
ユニスは何もしないで
納得いかない！
うう…
オウル
やっぱりあたしも
リルの仕事手伝うよ
お前とはそういう
契約だから仕方ないだろ
ユニスに任せようにも
あまり役に立たんしな
いや
お前はいざと
いう時の剣として
役に立って
くれれば良い
それに
リルの仕事も
今日からは少し
軽くなるはずだ
え？下僕の
ゴーレムでも
作ってくれるの？
忘れたのか？
…きょうは初めて
生贄の娘が届く日だ

出でよ…！

コッ
コッ
ゴゴ
ゴゴ
…

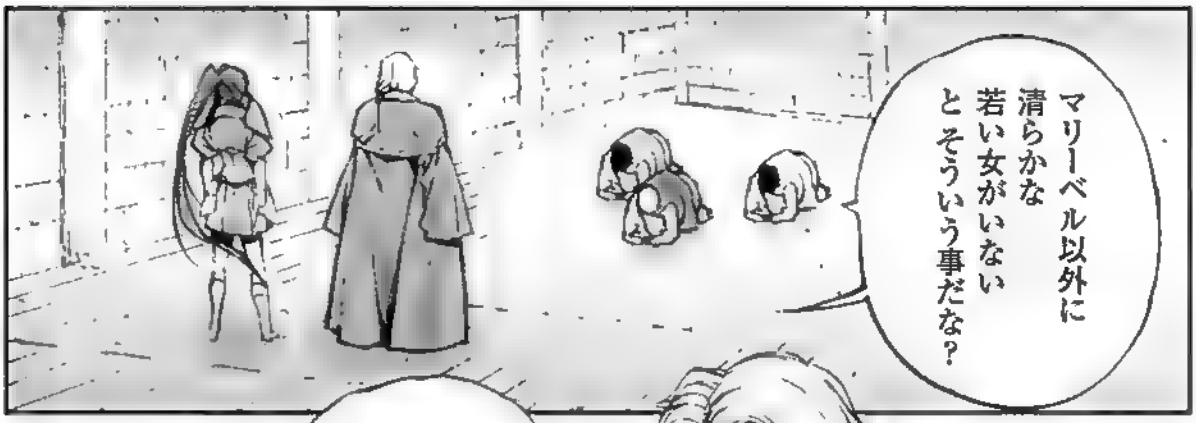
…こ
子供？
娘よ
起きろ
お前は
何者だ
ふにゃ…？
起きよ！
う…ん

答えよ
お前は
何者だ
え…
えーと
…
…ごごきげん
うわるしゅう
おうるさま
わわたしは
マリーベルと
もうし…ます
えと…いいご
どうぞおそばに…
…ええと おそばに…

…魔力はほとんど
持ってないよ
大人が魔術で
化けたりしてる
ワケじゃない
見たままの子供
武器とか
使えるわけでも
なさそう
フツーの子供
じゃないかな
「若くて清らかな
娘を寄越せ」
とは言ったがな…
いくらなんでも…
?

村に行く
ユニス供をしろ
リルはその娘の
相手をしていてくれ
また留守番?
しかも子守~?
オウルは
あたしが
守るからねー
…

…つまり


マリーベル以外に
清らかな
若い女がいない
とそういう事だな？

は…はい！
今この村には
若い娘がほとんど
おりませんで…
僅かにいた若い娘も
嫁いだもので
男を知らぬ中では
マリーが一番の
年嵩なんでございます

村長よ
…その言葉に
嘘はないな？

あ…
…その
一人おるには
おるのですが…
とてもオウル様に
捧げられるような
器量の娘ではなく……

しかし…
良い
その娘を
連れて来い
二度は
言わんぞ
は…はは！
ただいま
連れて
まいります！

こ…
こちらの者で
ございます
顔を
見せよ

ひ…！
…
なるほど
醜いな

ええ ですから
オウル様のお目に
入れるも見苦しく
候補から外した
次第でして…
娘
名は何と言う

……
ソフィアと
申します

ふむ
この俺を
目の前に
眉ひとつ
動かさぬか
村長よ
は…!?
俺はこの娘が
気に入った
貰っていくぞ

それは
構いませんが…
…そのマリーは…
…悪いが
マリーベルとかいう
あの娘を帰す
訳にはいかん
が契約は
1年につき1人
娘を差し出せ
という内容だ
無闇にその約定を
破る訳にもいかん

…10年
今から10年の間
娘を差し出すのを
取りやめてよい
ズズズ
10年後の娘と
月々の作物を
忘れぬようにせよ
ズズズ
あ…ありがとう
ございます！
バシュッ
ウウ…
そ…村長
よかったですね
まさかオウル様が
ソフィアを
引き取って
くださるとは
ああ…
あの娘には悪いが
厄介払いができて
幸いだ…
礼を言わなきゃな

こっちだ
…
…ねえオウル
あの子なんだか
ちょっと…
変じゃない？
何がだ？
…わかんないけど…
あの傷がどうこう
とかじゃなくて…
…
ではソフィアよ
脱げ

…美しいな

その傷は
どのように
ついたものだ？
幼い頃
盗賊に襲われないよう
焼けた油を
自分で被りました

その傷は
どのように
ついたものだ？

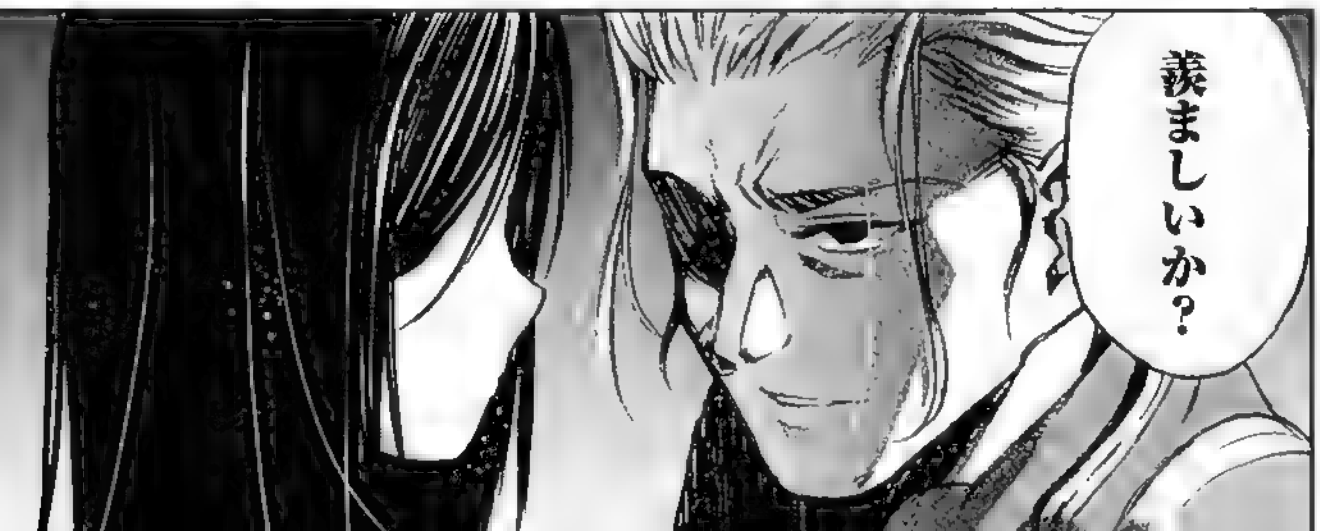
幼い頃
盗賊に襲われないよう
焼けた油を
自分で被りました

…美しいな

スッ

お前と同年代の娘がいないのはその盗賊のせいか
はい
少しでも見目の良い娘は盗賊に捕まり犯され殺されました
村に残ったのは醜い娘とそれよりも醜い私だけです
あの村はお前の犠牲でもう盗賊に襲われる事はない
村を狙う不届き者はガーゴイルが皆殺しにするであろう
はい
マリーベルという娘は知っているな？
お前の前に生贄としてきた45歳の金髪の娘だ
……
それはおそらく真名でしょう
村では単に〝マリー〟と呼ばれています

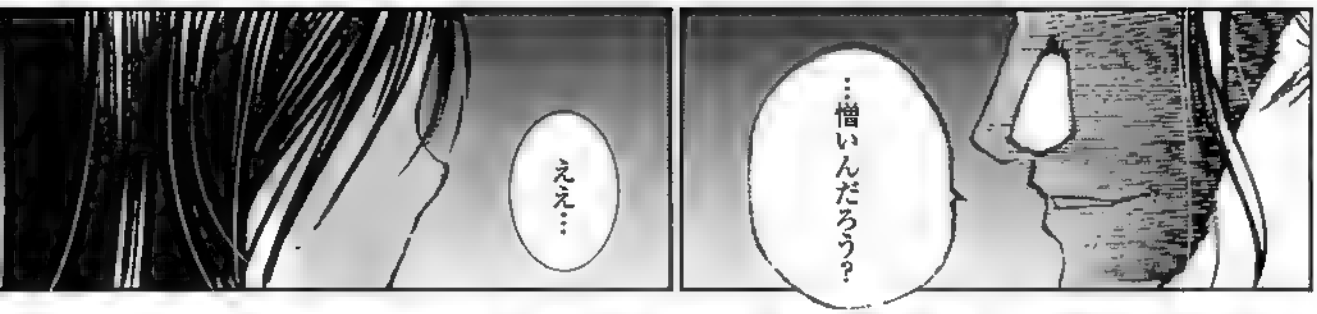
あれはまだ幼いが
生贄に選ばれる
だけあって
美しいな
もう10年もすれば
誰もが手に入れたい
と思うような
美女に育つだろう
はい
だれもがあの娘を
愛しく思うだろう
雨は避け日の光は
柔らかに降り注ぎ
大地は暖かく
抱きとめる
病も獣もあの娘を
傷つける事は敵わず
飢えた盗賊さえ
あの娘を慈しみ
育てるだろう


羨ましいか？

…

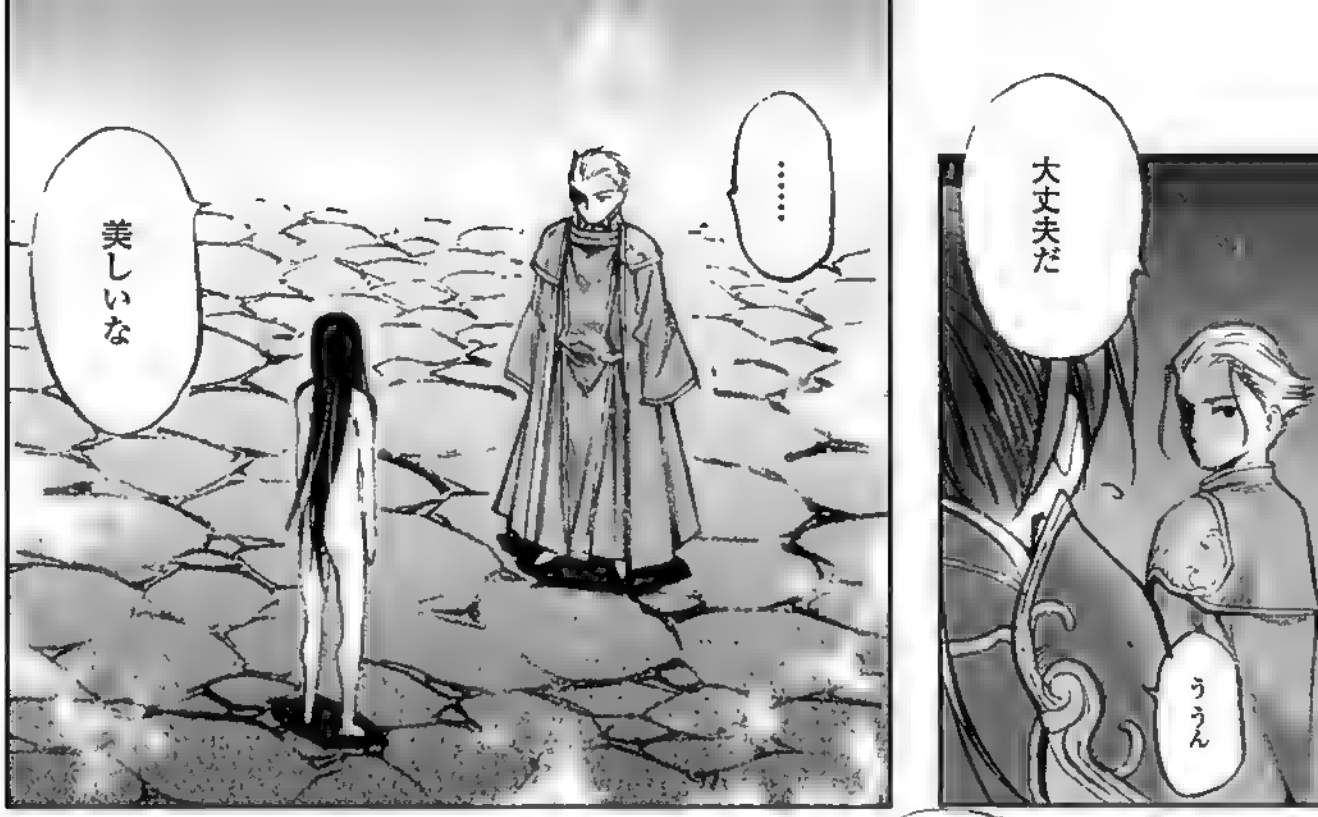
ソフィアよ
お前は呪われた子
忌み嫌われた子だ
お前の踏んだ大地からは
稲が芽吹かず土は冷え
霜に覆われて固まり
風は止み太陽は
雲に覆われる

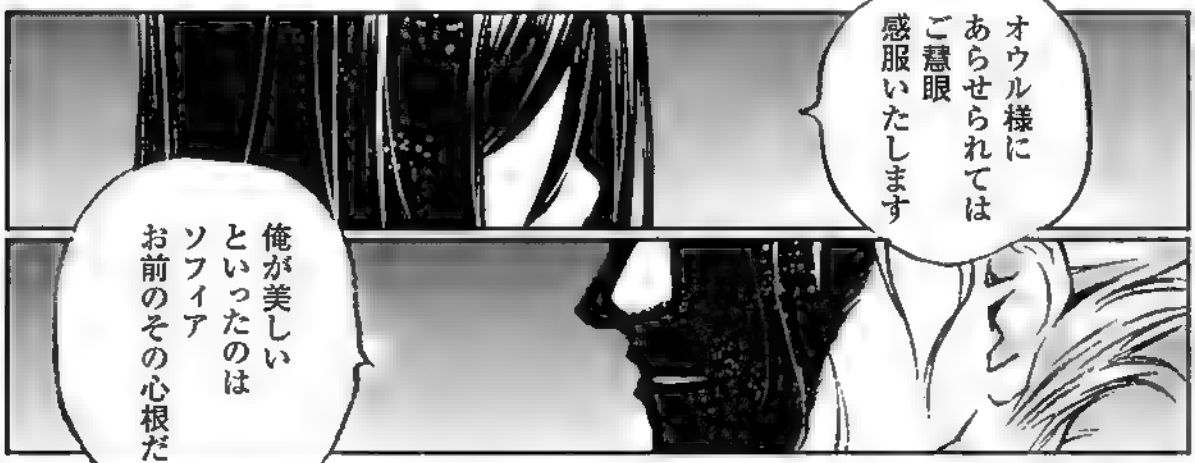
世界がお前を
憎んでいるからだ
村の人間はお前を
恐れただろう
それはお前の姿が
醜いからではない
身を守るために
焼けた油を被る娘が
恐ろしかったからだ
人の姿をしながら
人ではないお前が
恐ろしかったからだ


…憎いんだろう？
ええ…

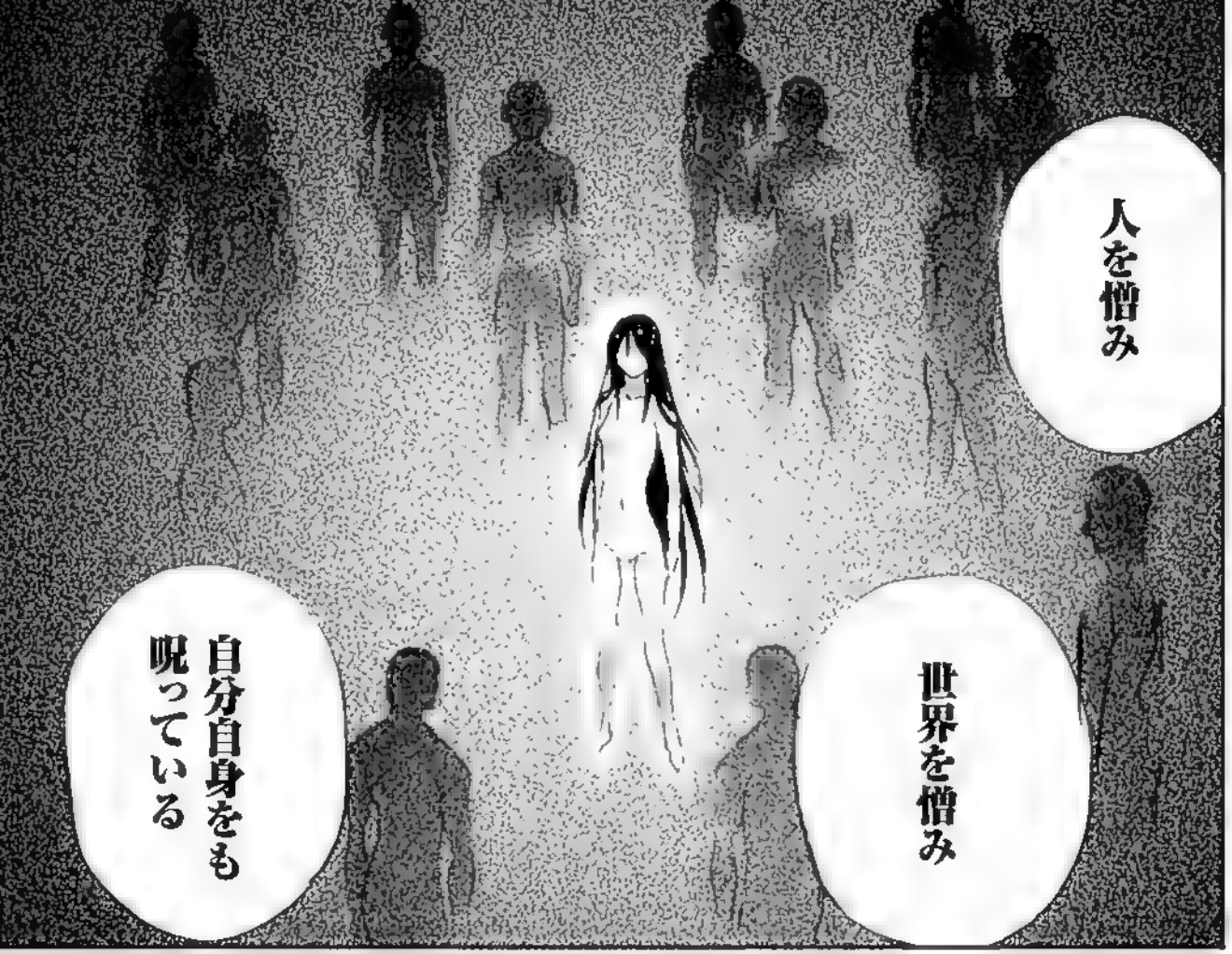
憎い
何もかもが

…
な…に…
この人…
この感じ…
まるで…
ユニス
部屋に
戻っていろ


大丈夫だ
ううん
……
美しいな


オウル様に
あらせられては
ご慧眼
感服いたします
俺が美しい
といったのは
ソフィア
お前のその心根だ

全てを憎む
真っ黒な
憎悪だ


人を憎み
世界を憎み
自分自身をも
呪っている

それは
魔術師として
稀有な才能だ
お前には
俺より優れた
魔術師になる
素質がある

ただの村娘に
しておくのは
惜しい

選ぶがいい
そのまま
醜い者として
老いさらばえ
朽ち果てるか
邪悪の限りを尽くし
屍の上に立ち
…ああ
呪われ血塗られた
道を歩くか
オウル様
…私が進みたい道は
あなた様の道です
屍の上を
歩くなら
私がそれを
殺しましょう
呪われ血塗れて
いるならば
私がそれを
すすりましょう

我が名
……
ソフィリシアに
誓って
良かろう
ならばお前は
今から俺の弟子だ
ソフィリシアの名を捨て
〝スピナ〟と名乗れ
ネリス・ビア・スピナ
それが今日から
お前の名だ

そうそう♪
そうやって
下から舐めるように
舌を上へもってくの
ペロ
ペロ

…
マリー
上手よ♡
うまいうまい

リル…
お前何を
やらせてるんだ?
あオウル
おかえり
これはねえ
りるがね
したのほうはまだ
つかえないから
くちだけでも
れれしゃうして
おきなさいって
この淫魔は…
…
それよりこいつに
家事を仕込んで
やってくれ

え？ 何？
どっから
連れてきたの
こんな子!?
うわー
キレイ
どこでもいいだろう
スピナ お前は
当分はリルについて
雑事を覚えろ
ダンジョンの
見回り 清掃
魔物や罠の管理
死体処理
食料の管理
シーツの取替えに
料理もだ

やっと
毎日の雑務から
解放されるのね！
やった！
やーーい!!
スピナって
言ったっけ
しっかり仕事
覚えなさいよー
ガン
私が従うのは
お師匠様だけです
使い魔ごときに
命令される謂れは
ありませんので
勘違いなさらないで
ください

オウル！
この子凄い
性格悪い！
なによこの子。
そうだ
だから
弟子にした

ああっこっちも
性格悪いんだった！
おおお
喜怒哀楽の
激しい奴だな
おおお
うるさい！

Step4 End

魔王の始め方

THE LOST

【職業◎子供】
【戦力◎○】

マリー

mary - child

とある村からオウルへ生贄として捧げられた〝清らかな娘〟。物怖じしないマイペースな幼女だが、現在のところは足手まといにしかならない。リルになついている？

「おうるさまごはんのじかんだよ」

そう…
マリーが
そっちで
ゴン
ゴン
では
私は…
プロ
ペチ
プロ
ペチ
じゃあ
わたしは…
…？
Step.5
……
？
…何を
している
起こしに
きました
びくっ！
どぴゅっ
どぴゅっ
いや起こす
ところが
違うだろ…
くっ…！
びゅっ
キャー♥
いっぱいでた

えー
オホン
とりあえず
現在の急務は
戦力の確保だ
最低限の人手と
生活基盤が
成り立ったからな
今日はそれぞれの
仕事を割り振るとするか
まずは戦力確保
…その手段は
大きく分けて
次の4種類だ

1.自然発生
2.契約雇用
3.魔術創造
4.悪魔召喚
ZZZ

自然発生する魔物の
管理はリルの役目だ
新しい魔物が巣を
作りに来たら報告しろ
はーい
次の契約雇用
魔族との交渉は
俺が行うがユニスは
傍で睨みを利かせて
くれればいい
任せて!

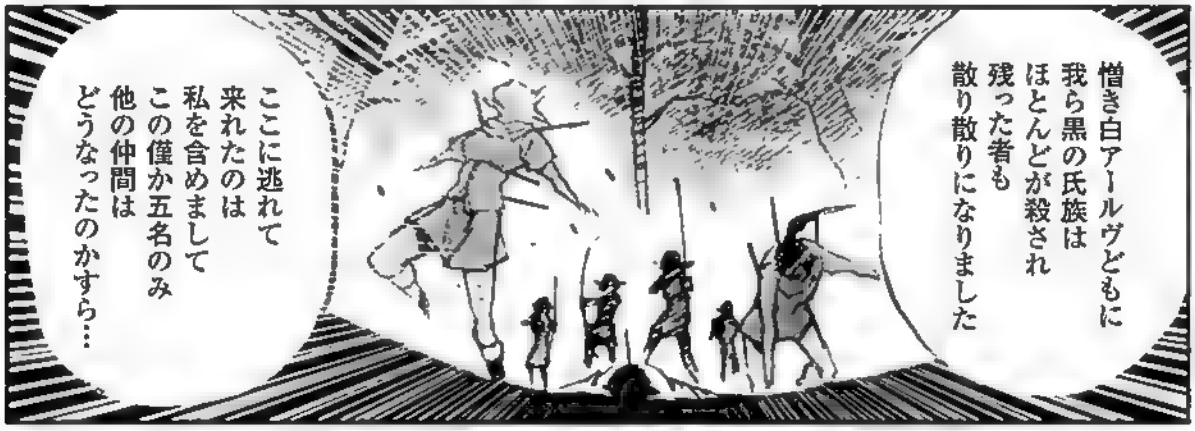
魔術創造は
スピナ
お前の役目だ
…
そして最後に
悪魔召喚
これは俺が
担当する

では
それぞれ仕事に
かかってくれ
はーいそんじゃ
また迷宮の見回り
いってくるかなー
おうるさま
おうるさま
？
わたしの
たんとうは？
…
飯の時間に
なったら
俺を呼びに来い
あい！

ご主人様！
第一階層に
コボルトが
巣を作ったよ！
おお
ついにか
コボルト
コボルトって
そんなに強い妖魔でも
ないんじゃなかったっけ？
奴らは元々鉱山に
住む土の妖精でな
坑道堀りは抜群に上手い
これで一気に
拡張できるぞ
なに？
あとオウルに
面会したいって言う
アールヴの一団が
来てるんだけど
どうする？

面会の機会を
与えていただき
ありがとうございます
私は黒の氏族の長
エレンと申します

オウルだ
用件を聞こう
はい
単刀直入に
申しませば
我らを保護して
いただきたいのです

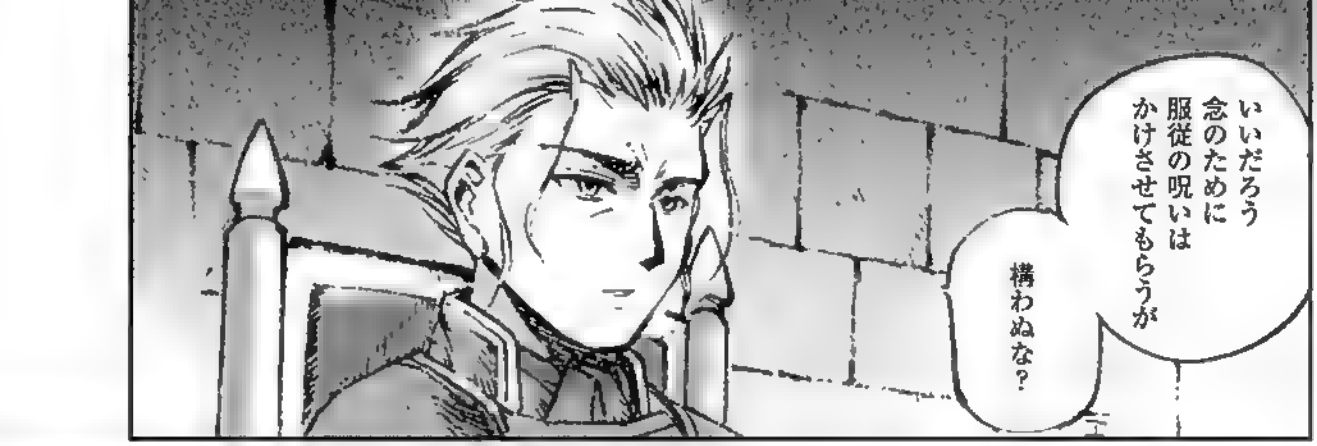

憎き白アールヴどもに
我ら黒の氏族は
ほとんどが殺され
残った者も
散り散りになりました
ここに逃れて
来れたのは
私を含めまして
この僅か五名のみ
他の仲間は
どうなったのかすら…

…
白アールヴは
人間と手を
組んだか
さすがは
偉大なる迷宮の王
そこまで見抜いて
おられましたか…

人間に殺され
人間の俺に頼るか
オウル殿は
人を超えたお方
庇護をくださるならば
間違っても
歯向かおうなどとは
思いませぬ

……良かろう
対価は何だ？
は

僅か五名の手勢なれど
ここにいる者は
皆一騎当千の精鋭
憎き白アールヴを
平らげるその日まで
その身全てを
オウル殿に捧げましょう


いいだろう
念のために
服従の呪いは
かけさせてもらうが
構わぬな？

勿論です
リル
部屋を用意してやれ
どこかいい
空き部屋はあったか？
えーっと
第二階層の
南東がいいかな？
ドヴェ……

そこは
駄目だ
…第三階層の
北東にしろ
え…でも
第三階層だと
外に出にくいし
あんまり
いい部屋残ってないよ
ピク：
居住区で構わん
汝らにあてがう
予定の部屋の傍には
地下水脈が
流れていてな
最近では地熱を
利用して常時沸く
湯殿を用意してある
ほう
湯殿！

アールヴの
美姫となれば
他の種族と
同じ扱いはできぬ
食事も我々が
食べているものと
同等のものを
用意させていただこう

…
確かに
我らは土に転がり
泥にまみれ喜ぶ
ドヴェルグども
とは違います
格別の配慮
痛み入ります

…オウルって
美人に甘いよね
おろかもの
あれは
お前のせいだぞ
アールヴの前で
ドヴェルグの
名前など
出すんじゃない
う…
…ごめん
アールヴは
ドヴェルグとは
伝統的に仲が悪い
気を遣わんと
最悪両方とも
このダンジョンから
出て行くと
言いかねんぞ

わはははははは！

いやー嬢ちゃん
人間にして
おくのは惜しいな

強くて勇敢で
酒も飲める！
この際 人間でもいいや
ドヴェルグの俺んとこに
嫁にこねえか!?

あー
魔術師さんの
嫁だったか
そりゃあ
仕方ねえなあー！

あはは駄目だよー
あたしオウルんだもん

随分
打ち解けてる
ようだな

あ
オウルー
どしたの？

いやちょっと
立ち寄っただけだ

しっかし
勿体ねえなあ！
ユニスちゃんも
もうちょい
美人だったら

・・・・

魔術師さんに
喧嘩売ってでも
嫁にもらったかも
しんねえのによ！

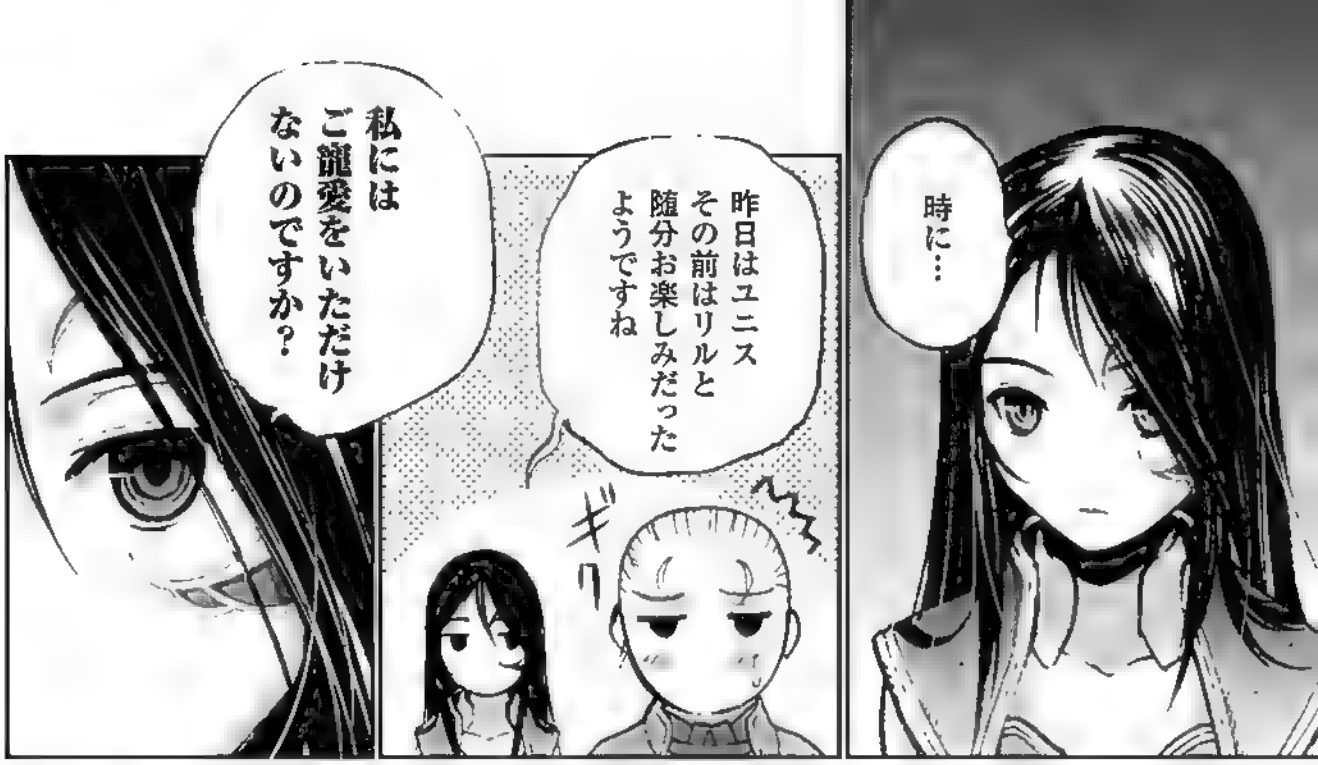
あっはっは
多分負けるから
やめた方がいいよー

…ところで
頼んでいたものは
できたか？
おお
扉と箱なら
できてるぞ
取り付けも
やってやるよ

それは助かる
あと弓を五帳ほど
作って欲しいんだが…
…弓イ？
そんな軟弱な武器
気が進まねえな
報酬は
今年できた
ばかりの
麦酒十樽
よおし
乗った！

スピナよ
調子はどうだ？
お師匠様
もう少しで
完成です
ふむ
初めてにしては
いい出来だ

お師匠様が
仰っていた
スライムに関しても
作っては
みたのですが…
ほう
どうやら
失敗して
しまったようで
生き物を食べない
ようなんです
まぁ お前に魔術を
手ほどきし始め
まだ一月も経たん
あまり気にするな


時に…
昨日はユニス
その前はリルと
随分お楽しみだった
ようですね
ギリ
私には
ご寵愛をいただけ
ないのですか？

…
魔術に携わるなら
純潔を保った
ままの方がいい
処女である事は
様々に役立つ

…
不満か？
…そうですか

私は敬愛する
お師匠様の
仰るとおりに
従います
不満など
あろうはずも
ございません

この女…
……
読めぬ…

できました
ううむ

では
動かしてみろ
はい

ズズズズズ

ああ！
おい

ああ…
スライムが…
ガシャーン

あっ…ああか…身体にぃ……
ちっスピナ
こいつの弱点は何だ！
大丈夫ですこの子は生き物を食べません
なに？
この子が食べるのは金属や一部の植物
あんっ
死んだ動物の皮など要するに衣服だけです

ちなみに
媚薬も混ぜたので
こうして包まれると
発情効果もあります
お前は
何を作って
るんだ!?
ネチョ
ウニュ
ウネ
ウネ
ウネ
グチョ
グチョ
グチョ
んっんん…
私の中に…
…入ろうと
していますね
よくもまあ
そんなものを
作ったもんだ…
これは俺にも
襲いかかるのか?
男性は嫌いなので
触れようとすれば
逃げます
ウニュ
グニュ
ウニュ

お前は
天才か？
せ…
精液をかけて
くだされば
特に…
はあ
はあ
あの早くして
くださらないと
私の初めての
相手がスライムと
いう事に
はあ
はあ
わかった
急かすな！
…まったく
抱きしめて
いただけません
スライムが
取れません
はあ
はあ
注文の
多いやつだ
いけません…
…媚薬の影響で
抱いてもらわねば
気が狂って
しまいそうです
はあ
はあ
はあ
はあ
……
離れたぞ
何から何まで
計算ずくか！

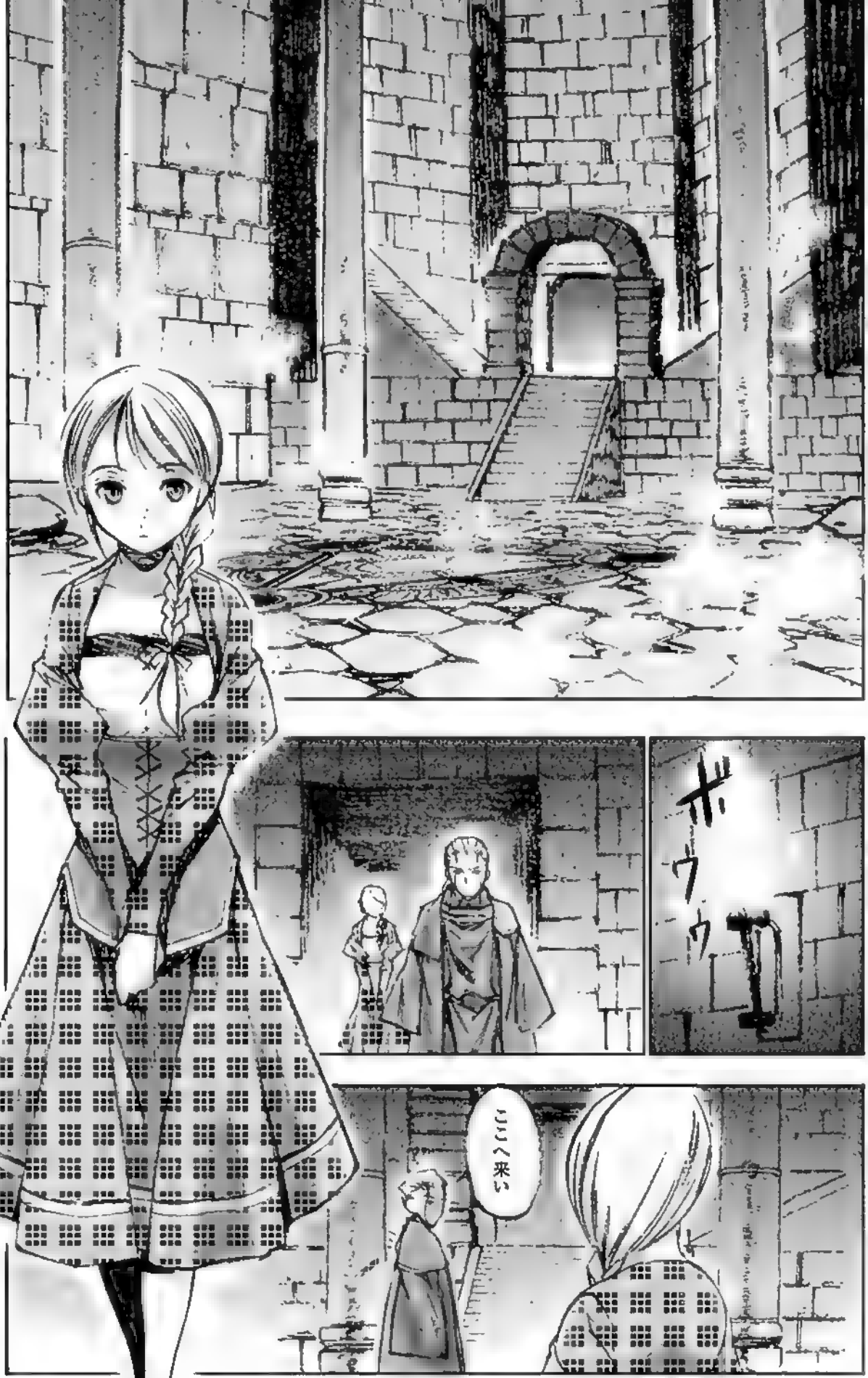
…抱かれたいなら
初めから
素直にそう言え
こんな回りくどい
手を取らんでも
何度でも抱いてやる
…そ
そのような事
言えません…
もう十分
濡れている
ようだな
あ!

どうだ
お前の中が
ひくひくと
蠢いてるぞ？
これで犯された
かったのだろう
どうだお前の処女を
奪った肉の味は
ぐちゃぐちゃ
ここが
何の役に立っているか
何のために女の身体に
ついているのか？
答えは
あっ あぁっ
ひぁあんっ！
『性的な快感を
得るため』だ

卑しく
浅ましい事だとは
思わぬか
わかるか？
他の何の役にも立たず
ただ快楽を
得る為だけに
存在するんだ
行くぞ
…受け止めろ
スピナ！

あああああ♡
ビクン
ビクン
ビクン

処女のくせに
ここまで
よがり狂うとは
一体どんな媚薬を
混ぜたのやら…
ふむ…
しかし侵入者が
女であれば
撃退や拷問に
使えるかも
しれないな…
っと…
そのスライムは
どこへ…?
ギャアア
!?
この声は
ユニスか
やれやれ…


ボウ
ウ
ここへ来い

Step.5 End

魔王の始め方

スピナ

spina - probation of the witch

オウルに生贄として
捧げられた村娘のひとり。
自分を含むあらゆるものに対する憎悪と、
目的のためには手段を■ばない■胆さを持つ。
その性格を■込まれ
オウルの弟子見習いとなる。

【職業◎魔術師見習い】
【戦力◎0】

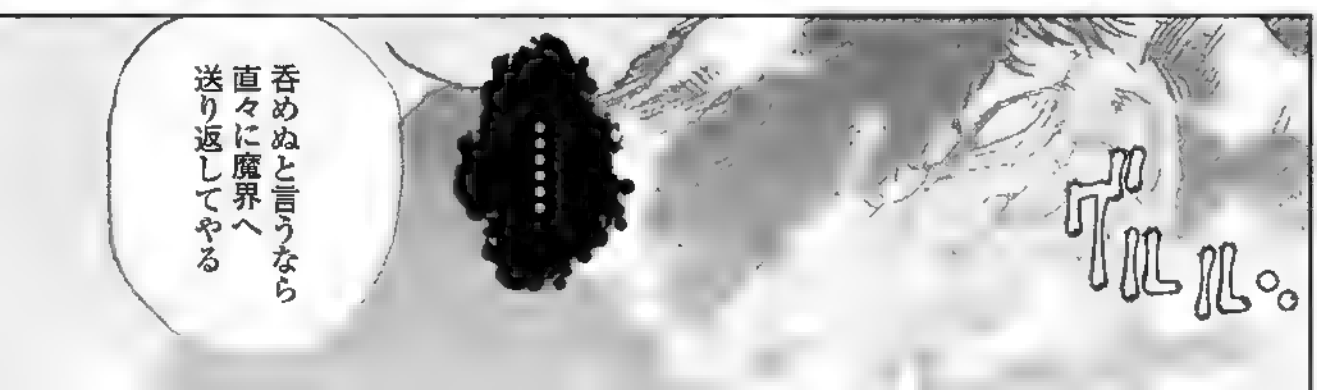
「憎い 何もかもが」

Step 6

ひ…
我ヲ呼ビ出シタノハ
女(オンナ)カ?
そうだ
我に仕え
その力を貸せ
…
対価として
魔力と処女の
血を払う

話ニナラン
血デハナク
魂ヲ寄越セ
穢(ケガ)レノナイ
娘十人分ノ
魂デナラ
考エテヤロウ
ボッ。。
ボッ。。
ボッ。。

それこそ
話にならん
貴様如き下級悪魔(レッサーデーモン)に
そこまで支払う
気にはなれんな
ボッ。。
ボッ。。
ボッ。。


呑めぬと言うなら
直々に魔界へ
送り返してやる
……
ゴルル。

所詮
小悪魔か
……
わからぬか
六百六十六の
悪魔を従える
この我の魔力を…！
六百六十六
…ダト…？
この男
嘘では…
ない…
…カカッタ
ヒトツデイイ
乙女ノ魂ヒトツダ
ソレデ
カヲ
貸シテヤル
駄目だ
条件は
変わらぬ
魔力と処女の血
それで我に
仕えろ

…ナラバ
交渉ハ
決裂ダ！
チッ…！
強引に
魔法陣の結界を
破る気か…！
オオオオ
オオオオ
おうるさまー

おうるさま
おうるさま
ごはんの
じかん
だよ
…！
!?

ボシュー
おおう

おい
処女の血って
その子の事か？
…
貴様が望むなら
それでもいいが

分かった
する
契約する！
お嬢ちゃん
名前を教えて
くれないか
？
わたしは
マリー…
…むぐ
おおい
おまえ口調が
変わってる
けどいいのか
うっかり真名
を口にする
ところだった
むぐぐ

ああ あんなもん
人間ビビらせる為に
やってるだけだ
別にいいだろ！
それより
とっとと
契約しろよ！
まさか
ロリコン
だったとは

汝レッサーデーモンよ
この契約に従い
名を持って
我が力となるか？
我が名ローガンに
かけて誓う
契約に従い
お前に力を貸そう
ボウ
レッサーデーモンの
ローガンが
仲間になった

おおおおおおおい！
!?
おいてめえ騙しやがったな！
六百六十六の悪魔とか言いやがってほとんどインプじゃねえか！
なんじゃあめ。
ギー
嘘はついてないだろう
それに処女の血！そりゃあマリーの血は滅茶苦茶うまかったけど…
週に一滴二滴ってどういうことだ！
ブン
ブン
契約書にはちゃんと書いたはずだが？
ああああああ！騙されたあああ！
めあああああああ
オウルって本当男には容赦ないよね…
…私女でよかった
?

おぉ
先に失礼
している
主殿
ああ
かまわん
そのまま
くつろいでくれ

主殿
この前いただいた弓を
試してみたのだが
あれは素晴らしいな！
それは
よかった
灰色熊を一撃だ
後で毛皮と肉は
進呈差し上げる

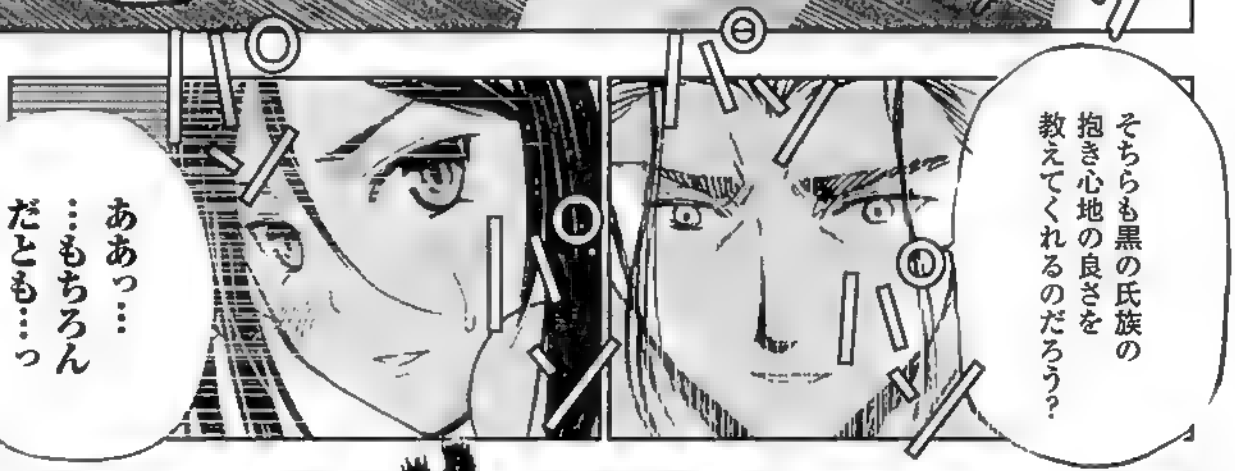
早く仲間が
見つかるといいな
それでな
主殿
あのような
素晴らしい物を賜り

我ら一同
ますます主殿への
忠誠を確かにした
ついてはその…
…名目だけでなく
実際にも主殿の
物にして
欲しいのだが…

…ここで
構わんか？
主殿が
望まれる
のであれば
いつどこででも

あん
あ

はぁぁ…
…さすがは
オウル殿
こちらの硬さも
素晴らしいな…


そちらも黒の氏族の
抱き心地の良さを
教えてくれるのだろう?
ああっ…
…もちろん
だとも…っ

うおお!

なるほど
これは…
…悪魔の使いと
いわれるわけだ
まさに魔性の
快楽だな
リル殿にも
負けぬ良さだろう？
存分に味わってくれ
ズチュ!!
パンパンパンパン
だが…！
やられっぱなしと
いうのも性に
合わんな
ふぁあ？
あ
あ
それ
だめえ……っ！

い……くっ……！
ビクッ
ビクッ
あ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

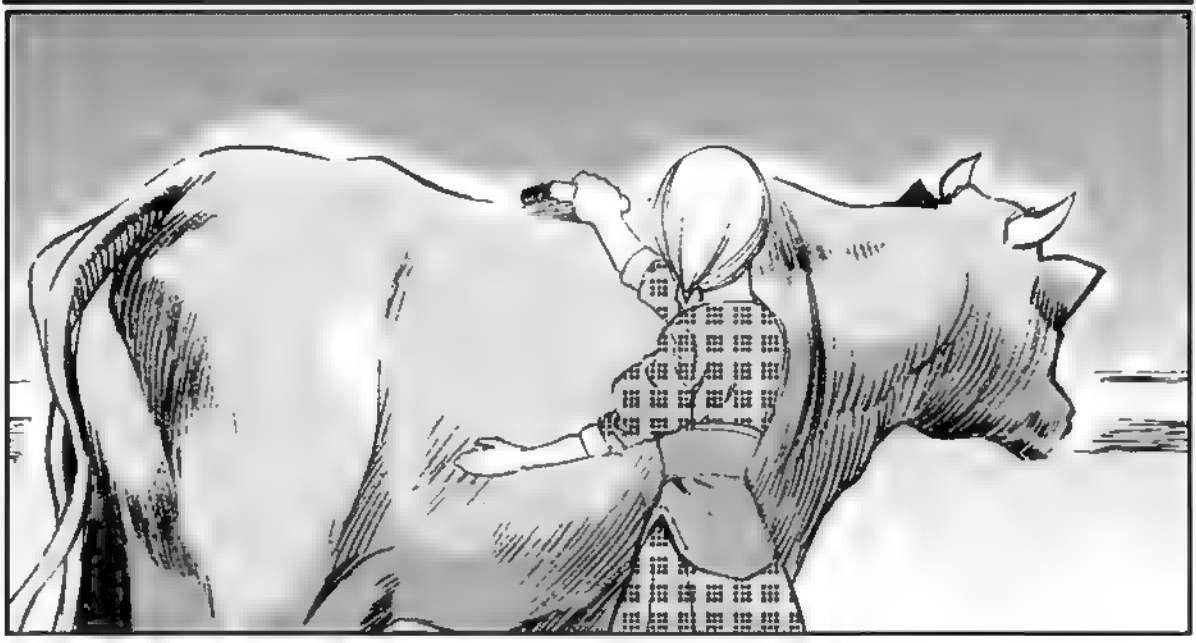
まだ四人
残っています
私達もご寵愛
いただけるの
ですよね？

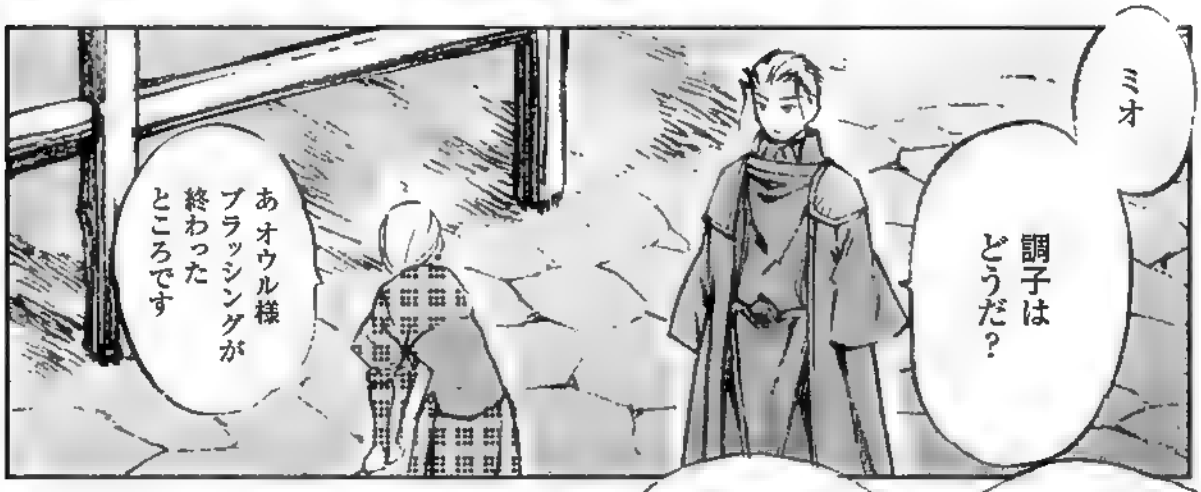
ああ
勿論だ
…
ドキ
ドキ

あー！
オウル様…！
すご…い！
こわ…れる
あああああ
らめえええ
えええええ

あぁ…
クチュ
あぁ…
パン
パン
あ…！
なんだ…自分で慰めていたのか？
隠さずともよいお前を抱く気はなかったが…
素材はそれほど悪くない磨けば光るだろう…どうだ？俺に磨かれてみるか？
私…アールヴの皆さんみたいに美人じゃないし…

卑下するな
確かにお前は美しいとは言えんが
醜いわけでもない
ビキ
ビキ
ほっ
パン
パン
パン
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
ふあああああっ!!
大丈夫だ頭をからっぽにしてそのまま快楽に身を委ねるのだ
ああ!
ズン
ズン
ズン
ズン
あ!

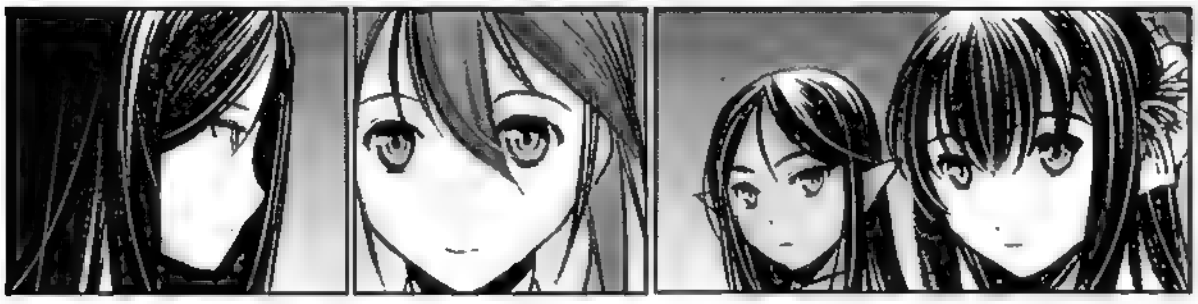



ミオ
調子はどうだ？
あオウル様ブラッシングが終わったところです

お前が家畜の世話をかって出てくれて助かっている
その動物の扱いの良さを見込んで頼みがある
グルルル…
？
こいつらの世話をしてくれ

ひ…！
グルル
ヘルハウンドだ
これでも一応
悪魔の一種だが
世話は普通の犬と
大して変わらん
身体は少しばかり
大きいがお前を
襲う事は
ないから安心しろ
わ…わかりました
一生懸命
お世話させて
いただきます
では
頼んだぞ
悪魔が放つ
瘴気も苦にしない
…ミオの魂は
完全に闇に
墜ちたようだな

第三階層
最深部
皆の者
集まって
もらったのは
他でもない



いよいよ
街へ
侵攻する

こちらの戦力も
大分整ってはいるが
村と契約したときの
ように簡単にはいかん
村と街の違いは
何かわかるか？

えーと…
…人が
沢山いる？
…
人間の事を我らに
問われてもな…
…いや待て
数の多い集落と
少ない集落の違いか
多い方は武装している
人間が多く
物見櫓や備え付けの
弓などがあったな…

戦力って言えば
兵士だけじゃなくって
冒険者もいるよね
街になれば
ギルドだってあるし
……
…多様性

街には
多様な
人間がいます…
街に住む人間
だけでなく
冒険者や
行商人
そして旅人に
役人…

そうだ
〝村〟には村人しか
いないと言っていい
村長の意思が
村人の総意だ
長が我々との
取引に同意すれば
村全体が
それに同意する

だが 街は違う
こちらとの取引を
町長が呑んだとしても
それを気に食わない
商人や旅人は
街を出ていける
無理に取引したとしても
そんな街に留まる
人間は減り
やがては衰退し滅びる…
略奪と変わりはない

街は十分自立
できているからこそ
発展し〝街〟の規模に
なっているのだ
こちらが
できる事は
そう多くない
じゃあ
どうするの？

決めさせる
だけだ
『どちらに
つくのが得策か』
をな

「その身全てをオウル殿に捧げましょう」

エレン

elen dark elf

黒の氏族の族長。
同じ森の妖精である白アールヴとの抗争に敗れ、わずかな部下たちとともにオウルのもとへ身を寄せる。
百発百中の弓の腕と、卓越した魔術の知識の持ち主。

【職業：黒アールヴ】
【戦力：8】
【最大貯蓄魔力：4】

オウル
リル

メインキャラクター

ラフデザイン集

『魔王の始め方』コミック化にあたって
最初に書いたキャラクターラフです。
漫画用に若干シンプルに直しました。

ヴァルキリーコミックス
魔王の始め方 1
THE COMIC
【電子書籍版】

漫　画
小宮利公

原　作
笑うヤカン

キャラクター原案
新堂アラタ

装　丁
キルタイムコミュニケーション制作部

発　行
株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル1F
●編集部 TEL.03-3551-6147／FAX.03-3551-6146
●販売部 TEL.03-3555-3431／FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Toshimasa Komiya ©Warau Yakan 2015
当ファイルは、ヴァルキリーコミックス『魔王の始め方 THE COMIC 1』
（2015年10月4日　初版発行）に基づいて作成しております。

http://ktcom.jp/

※この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは一切関係ありません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご感想、ご意見、読んでみたいお話、ジャンルなど
どしどしお書きください！　読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎ **http://ktcom.jp/goiken/**

◎手紙・ハガキの宛先◎
〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル
(株)キルタイムコミュニケーション　ヴァルキリーコミックス感想係

人生をかけた研究の末に
〝魔王〟となるべき力を手に入れた男――オウル。
サキュバスの美女リルを召喚した彼は、
自らの牙城となる地下迷宮の建造に乗り出していくが…？
人間不信の魔王が世界征服に挑む
異色のダークファンタジーここに開幕!!

HOW TO BOOK ON THE DEVIL THE COMIC 1

comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan